

シンクライアントシステム

**SKYDIP**

**Desktop Client**

スカイディブ デスクトップ クライアント

Ver.7

民間企業向けカタログ



# 「シンククライアント」で オフィス以外でも 安心して働ける 環境づくりをサポート

組織での働き方改革が推進され、  
在宅・サテライトオフィス勤務やモバイルワークなどが定着していきなかで、  
セキュリティを確保した上でこれら新しい働き方に  
安全に取り組むことができる環境の整備が重要になっています。

「SKYDIV Desktop Client」は、シンククライアント(仮想環境)を利用することで、  
オフィス外からでも安心して業務が行える環境を整備し、組織の取り組みをサポート。

わかりやすいユーザーインターフェースや、  
すべて国内で提供される安定したサポートサービスなど、  
製品・サービスの両面で使いやすい商品を提供します。

仮想環境なら  
データを残さず  
リスクを軽減

# オフィス外での業務を安全に実施するために 組織の働き方に応じた適切な方法の選定を

オフィス外で業務を行う環境を構築する際には、利用者の対象範囲や業務内容、作業形態などを考慮した上で、適切なシステムや手法を選ぶ必要があります。

## 私物PCをそのまま利用すると...



最新OSや更新プログラムが適用されていない場合、セキュリティリスクが生じることも



Web会議ソフトウェアなど必要なシステムがスムーズにインストールできない可能性も

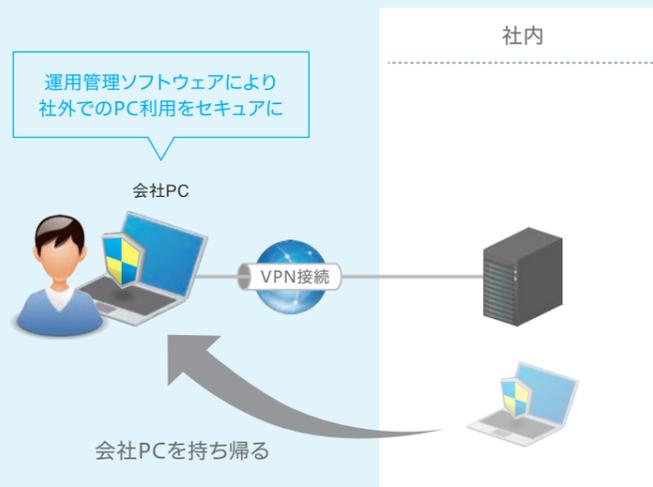


プライベート利用も含めた操作ログなどの情報が、社内サーバーに保存されることに

セキュリティ面、運用面を考慮すると、セキュリティ対策が施された会社貸与のPCを持ち帰って利用するのがよいでしょう。しかし、会社の規模や状況によってノートPCを従業員に手配することが難しい場合には、リモートデスクトップを利用したり、シンクライアントを導入して仮想環境で作業する方法もあります。

## 会社貸与のPCを持ち帰って利用する

安全かつ効率的な運用が行えるように、管理がしっかりと行き届いた会社PCを自宅に持ち帰って利用します。運用管理ソフトウェアが導入されているため、各PCの操作ログを記録して状況把握に活用したり、USBメモリなどの外部記憶媒体の使用を制限して情報漏洩リスクを軽減できます。ハードディスクを暗号化しておけば、社内データの漏洩リスクは抑えられますが、PC自体の紛失・盗難が発生した際には企業の信用問題につながる恐れもあるため、細心の注意が必要です。



**コスト** ○ 社内で使用しているPCをそのまま活用できる。

**セキュリティ** ○ PCごとに事前にセキュリティ対策を実施できる(ただし、PCの紛失・盗難リスクは残る)。

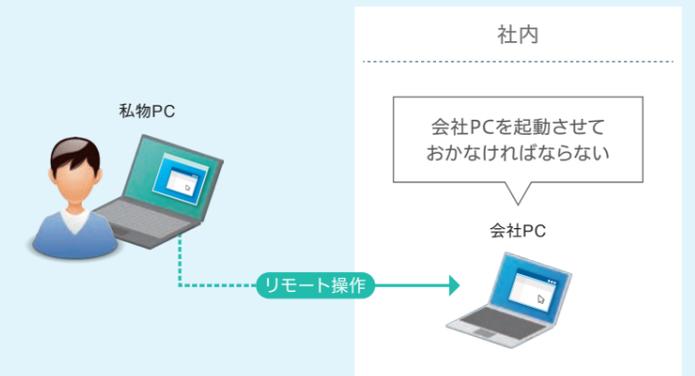
**実用性** ○ 社内と同様の環境で業務が行える(ただし、デスクトップPCなどを使用している従業員には、別途ノートPCの手配が必要なケースも)。

**メンテナンス** ○ 運用管理ソフトウェアを活用して端末を集中管理できる。

**POINT** 災害時などに全社でリモートワークを実施する場合に備えて、普段から各PCを適切に運用・管理しておくことをお勧めします。

## リモートデスクトップを利用する

私物PCから会社PCのデスクトップ環境を遠隔で操作・閲覧する方法です。個人のPCを流用できるため導入コストは少なくすみますが、リモート接続する会社PCを常時起動しておく必要があること、不具合発生時には再起動してもらうための人員が必要になることから、会社全体でリモートワークを実施する場合には運用が困難になります。



**コスト** ○ 私物PCの流用で、導入コストを抑えることができる。

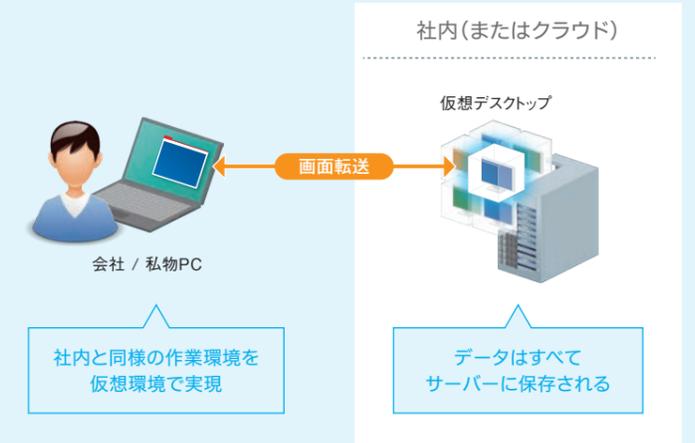
**セキュリティ** ○ 会社PCの画面を転送するため、手元のPCにデータが残らない。

**実用性** ✖ 利用時には、接続先の会社PCを常時電源ONにしておく必要がある。

**メンテナンス** ✖ 不具合時に会社PCを再起動するための人員が社内に別途必要。

## シンクライアントを利用する

社内に設置されたサーバー(またはクラウド)上の仮想デスクトップに、手元の物理PCから遠隔でログインして利用する方法です。扱うデータはすべてサーバー上に保存されるため、セキュリティ面でメリットが大きい手法といえます。また、私物PC、会社PCのどちらでも利用可能な上、OSアップデートなどのシステム管理は、仮想デスクトップが集約されたサーバー側で集中管理できるため、保守にかかるコスト・手間を軽減できる点も特長です。



**コスト** △ 仮想環境の構築が必要。

**セキュリティ** ○ データは手元の端末に残らず、セキュリティ対策を施したサーバーに保存される。

**実用性** ○ 社内と同様の環境で業務が行える。デスクトップPCなど、さまざまなタイプの端末で利用できる。

**メンテナンス** ○ 仮想デスクトップをメンテナンスすることで効率的な集中管理が可能。

**POINT** シンクライアントではサーバー構築などの導入コストがある程度かかるため、利用する部署や期間、頻度が限られる場合には、クラウドの利用や他方式との併用など、柔軟な運用も考慮することをお勧めします。

それぞれの方法を組み合わせた運用もご検討ください

運用管理ソフトウェアを導入した会社PCを、リモートワークに必要な台数だけ準備できない場合などには、私物PCでのシンクライアントの利用も組み合わせることもご検討ください。

## SKYDIV Desktop Client の特長 1

# はじめてでもすぐに起動して使える、 利用者の使いやすさを追求

### 起動の流れ

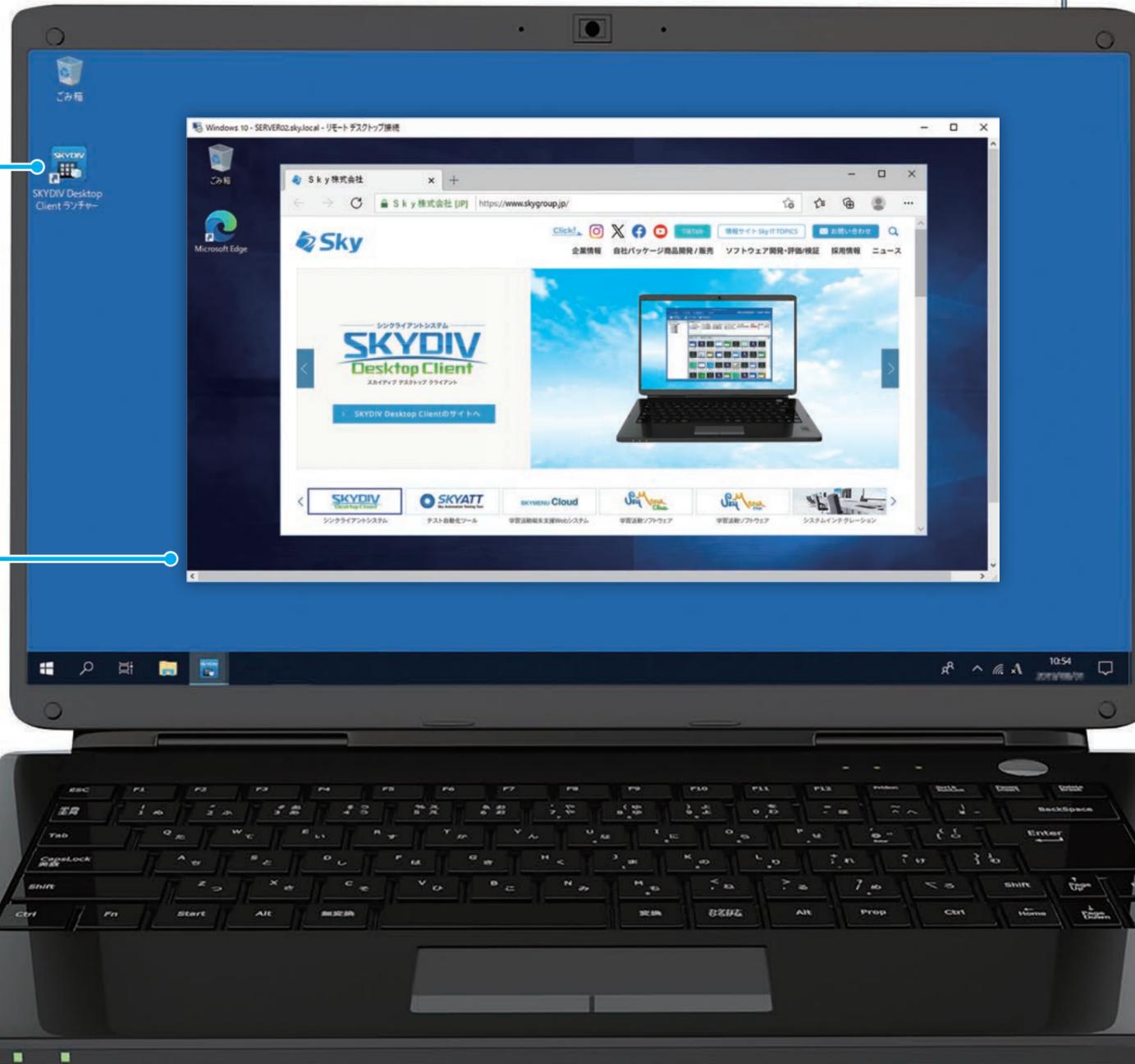
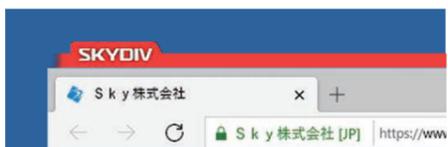
1 ランチャーアイコンを  
ダブルクリック

2 ユーザー名、パスワードを  
入力してログイン

3 仮想端末  
(アプリケーション)が起動

### POINT

仮想環境のウィンドウをマーカー表示することで、利用者がローカル環境のアプリケーションと区別しやすいように設定できます。また、マーカーの色や大きさなどを変更できます。<sup>※1※2</sup>



### 複数の仮想環境の使い分けも簡単に

利用者が使う仮想環境が複数ある場合には、ランチャー画面を表示して選択できます。ショートカットを作成して、デスクトップから直接起動することも可能です。

### POINT

業務をスムーズに始められるように、仮想環境にリモート接続した際に、よく使うアプリケーションを起動しておくことも可能です<sup>※3</sup>。



仮想環境の利用時に  
起動するアプリケーション

生体認証の併用で、  
ログインをよりセキュアに

※1 SBC (RDS) 方式でアプリケーションを使用している場合のみ、マーカー表示されます。また、マーカー表示は任意でON / OFFが可能です。※2 複数のネットワークで個別に仮想環境を構築している場合でも、ネットワークごとにウィンドウの色を使い分けることで、判別がしやすくなります。※3 SBC (RDS) 方式をお使いの場合にご利用いただけます。

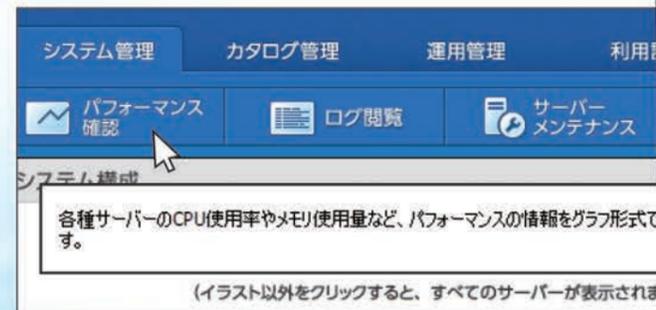
# 直感的に使いやすい管理画面で 管理者の日々の運用をスムーズに

### カテゴリ分けされた わかりやすい設定メニュー

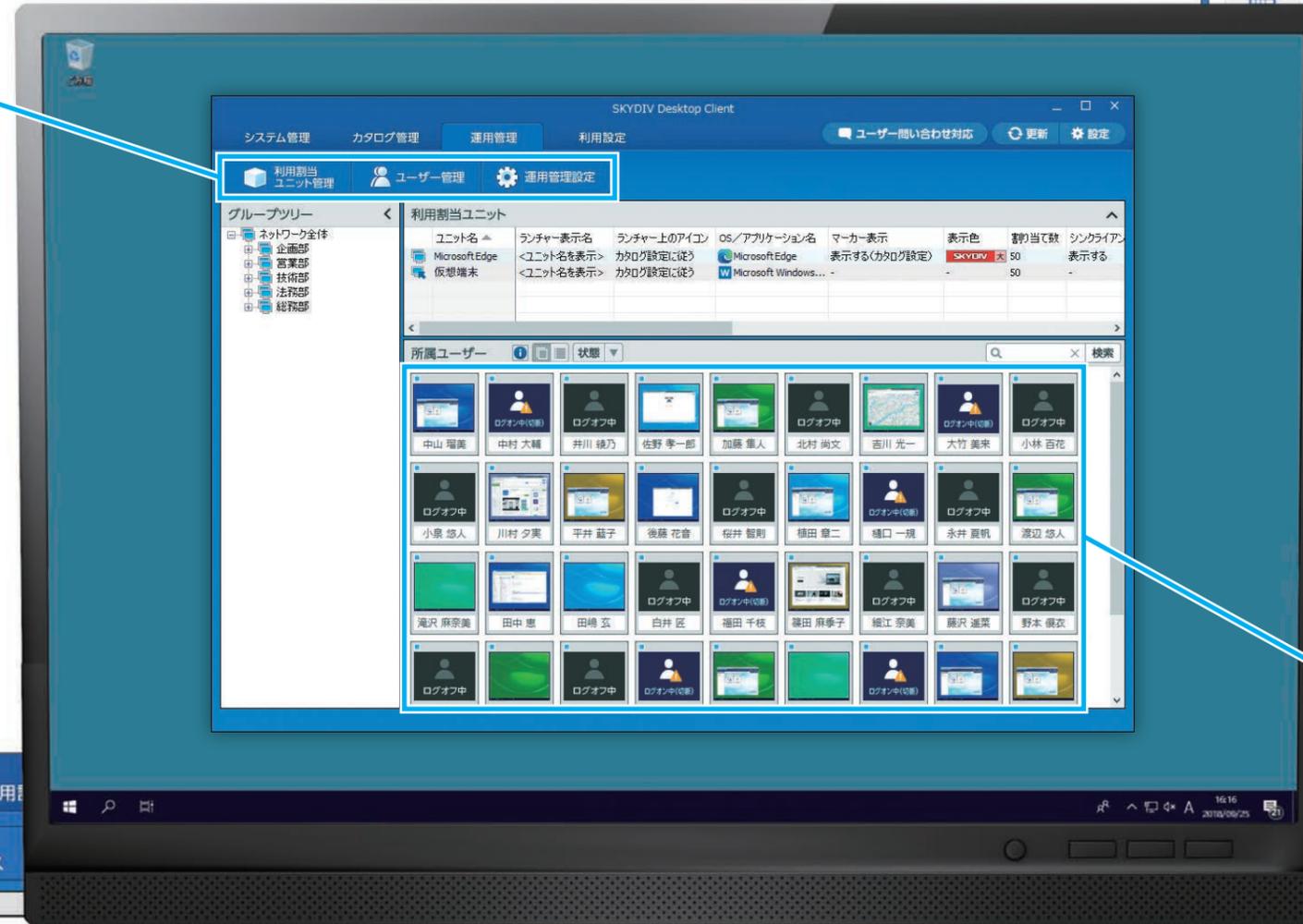
設定ごとにわかりやすく整理されたアイコンを用意。必要な設定(操作)がすぐに見つかるように、操作のカテゴリで分類されています。

### 初めてでも操作に迷わない 「ふきだしヒント」

ボタンや項目にカーソルを合わせると、操作のヒントを表示する「ふきだしヒント」を搭載。管理画面の操作を支援します。



各種サーバーのCPU使用率やメモリ使用量など、パフォーマンスの情報をグラフ形式で確認できます。  
(イラスト以外をクリックすると、すべてのサーバーが表示されます。)



### イラスト・アイコンで 状況把握がしやすい

仮想環境の安定運用に不可欠なサーバーの稼働状況が把握しやすいように、システム構成図をイラストで表示するなど、視覚的にわかりやすいように工夫しています。

### 仮想環境の状況が視覚的に 確認できる画面表示

ユーザーごとの仮想環境へのログオン状況や操作状況が、ひと目で確認できます。また、仮想環境の詳細情報を一覧で確認できるリスト表示にも切り替えられます。



### SKYDIV Desktop Client の特長 3

## 基盤は使い慣れた Windows Server / Hyper-V

仮想化基盤には、日本の多くの組織で運用されている  
マイクロソフト社のWindows Serverに搭載された「Microsoft Hyper-V」を利用。  
これまで使い慣れたMicrosoft製品の環境でシステムを動作させることができるため、  
スムーズに運用を開始していただけます。

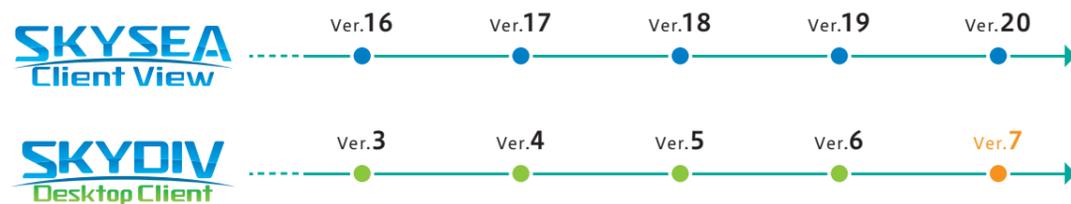
### SKYDIV Desktop Client の特長 4

## 開発からサポートまで 国内・日本語で対応

SKYDIV Desktop Clientは、Sky株式会社が国内で開発・販売。  
サポートサービスもすべて国内で提供し、  
技術資料やマニュアルも日本語で制作しているため、安心してご利用いただけます。

### Sky株式会社では常に進化を目指して 製品の定期的なバージョンアップを行っています

お客様に常に最新のIT環境で安心してご利用いただくために、SKYDIV Desktop Clientを含む弊社商品では、定期的なバージョンアップを通して機能追加や改善を行っています。



## SKYDIV Desktop Client

## Ver.7 新機能のご紹介

NEW

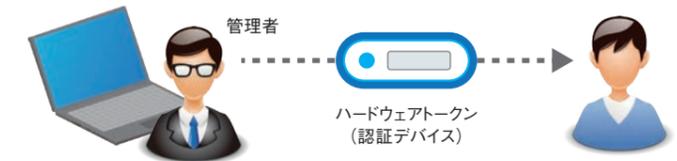
「Remote Access Services」を強化

### セキュアな二要素認証をハードウェアトークンで実現

「Remote Access Services」によるリモート接続時の二要素認証をさらに強化。これまでのスマートフォンを使った認証に加えて※1、ハードウェアトークン（認証デバイス）に表示されるワンタイムパスワードを入力してログインする仕組みを追加しました。業務上、スマートフォンの持ち込みが禁止された環境でも、二要素認証によるセキュリティ強化が可能です。

#### POINT リモート接続時のログイン認証を強化

1  
ユーザー登録した認証デバイスを  
管理者が支給



2  
リモート接続時に  
ID・パスワードを入力※2



3  
認証デバイスに表示される  
ワンタイムパスワードを入力

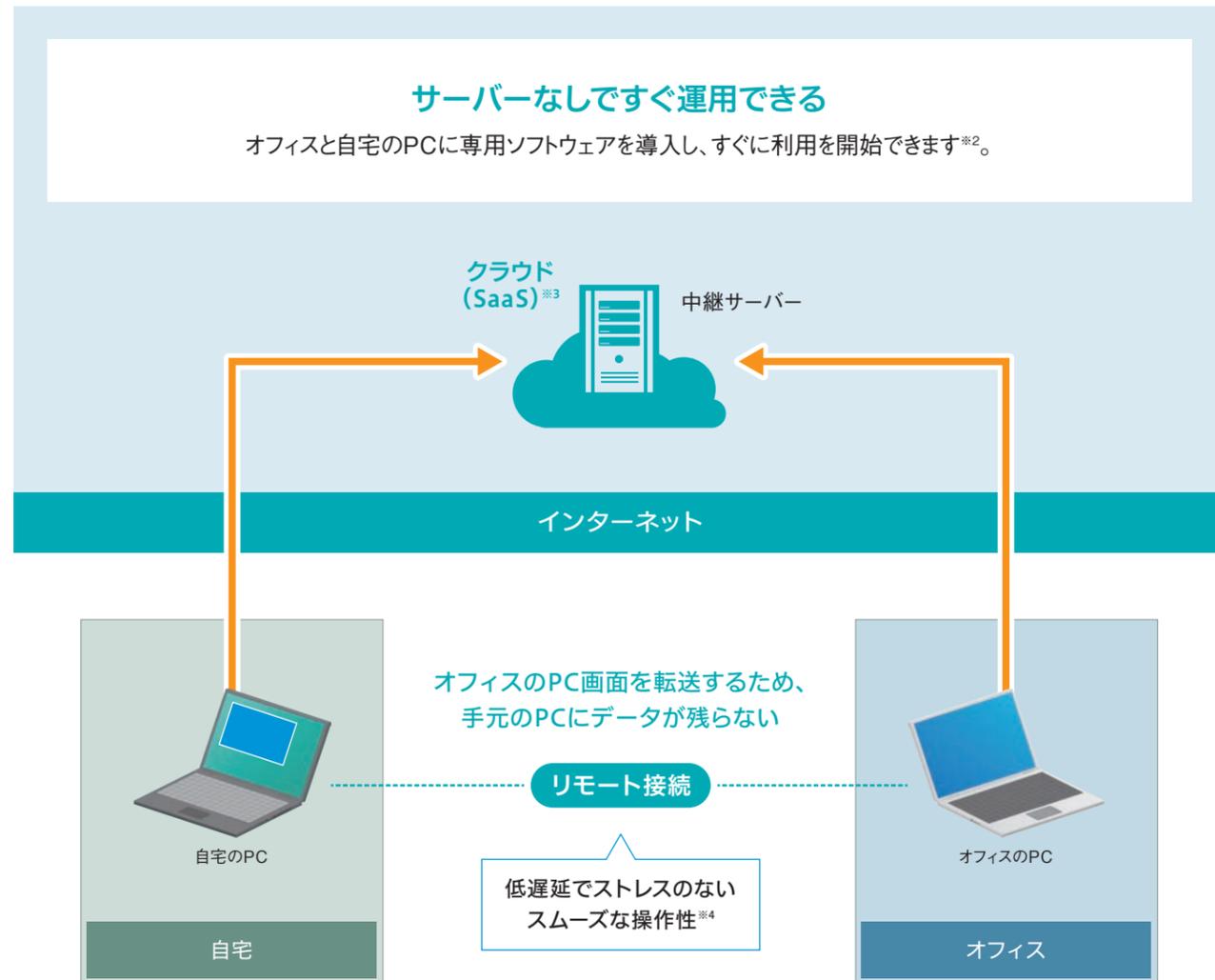


※1 スマートフォンを利用した二要素認証については、P.14をご覧ください。 ※2 設定によっては、ID・パスワード入力が必要となる場合があります。

オプション SKYDIV Desktop Client Remote Access Services ※1

## 手軽に・安全にオフィスのPCをリモート操作

出張先やリモートワーク中に、手元のPCからオフィスのPCをリモート操作できるサービスを新たに搭載。パブリッククラウドを経由する「SaaS版」に加えて、社内に設置したサーバーを介して利用できる「オンプレミス版」もご用意し、お客様の運用に合った方式をお選びいただけます。

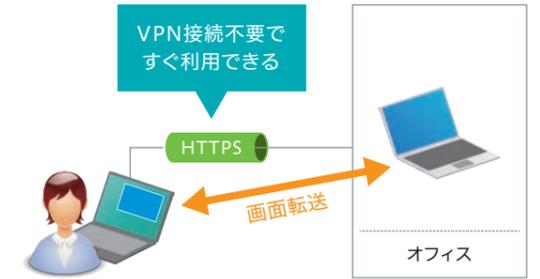


※1 本機能は、オプションでのご提供のほか、単体で購入してご利用いただくことも可能です。対応OSなど動作環境については、Webサイト ([https://www.skydiv.jp/operation/v7\\_0.html](https://www.skydiv.jp/operation/v7_0.html)) をご覧ください。 ※2 利用者側のPCへの専用ソフトウェアのインストールが不要な「Webブラウザ版」もご用意しています。 ※3 お客様の環境にサーバーを設置するオンプレミス版もご用意しています。 ※4 インターネットの回線速度が極めて遅い場合は、この限りではありません。

特長 1

### オフィス側のネットワーク変更が不要

専用ソフトウェアを利用者側のPC、オフィスのPCの両方にインストールするだけで利用いただけます。VPN接続は不要で(HTTPS通信のみ)、ほとんどの場合でオフィス側のネットワーク機器の設定は不要です。

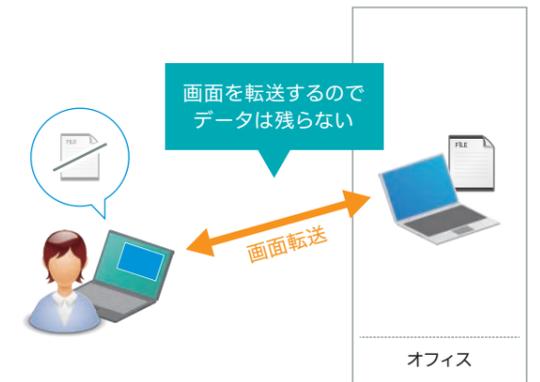


特長 2

### 利用者側のPCにデータを残さず安全

オフィスのPCの画面を利用者側のPCに転送して操作するため、利用者側のPCにデータは残らず、紛失や盗難などによる情報漏洩リスクを軽減できます。また、利用者側のPCのローカル環境にデータをコピーすることもできないため、データの持ち出しを防ぐことも可能です。

メンテナンス作業などでの利用を想定し、PC間でのデータ共有が行える機能もご用意していますので、ご利用の際は設定を十分に確認の上でお使いください。



特長 3

### オフィスのPCをリモートで電源ON

利用者側のPC、オフィスのPCの両方で電源が入っていれば、すぐにサービスを利用できます。オフィスのPCの電源が入っていない場合でも、同一ネットワーク内に電源ONのPC※5が1台でもあれば、Wake On LAN機能で電源ONにし、リモート操作することが可能です。

※5 本サービスの専用ソフトウェアがインストールされている必要があります。

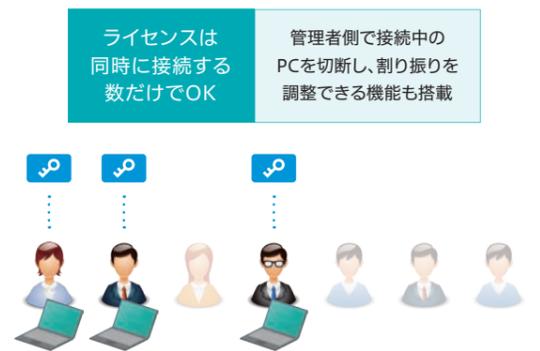


特長 4

### コスト削減につながるライセンス形態をご用意

「Remote Access Services」は、同時接続数ライセンスでの提供となります。例えば、従業員が交代で週1〜2日ずつリモートワークを実施する環境の場合、従業員の人数分のライセンスを用意するよりも、コスト削減につながります。

ご使用いただいたライセンス数に応じて利用料をお支払いいただく、従量課金の料金形態もお選びいただけます。



# リモートワークの新たな選択肢

## 部署単位でポリシーや接続上限を設定し、柔軟な運用を実現

リモート接続方法、PC間のリダイレクトやファイルコピーの許可など各種利用設定を、部署単位で指定できるように改善。また、同時接続を許可する上限台数を部署ごとに割り当てることもでき、組織の運用に沿った柔軟なサービス利用が可能です。

部署・グループを編集し※1、利用ユーザーを割り振り

部署・グループごとにポリシーを設定

名前	アカウント	ユーザー種別	利用権限 操作PC台数	接続制限 対象PC台数	ユーザー登録状況	所属部署
齊藤 太郎	sozora@mail.example.co.jp	管理者	1台	1台	登録済み	営業部
井川 結乃	ikawa@mail.example.co.jp	管理者	1台	0台	登録済み	営業部
藤田 隼二	ueda@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	1台	登録済み	営業部
大竹 美咲	ootake@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	1台	登録済み	営業部
岡本 隆斗	okamoto@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	0台	登録済み	営業部
加藤 真人	katou@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	1台	登録済み	営業部
金子 健太	kaneko@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	0台	登録済み	営業部
川村 夕美	kawamura@mail.example.co.jp	通常ユーザー	1台	1台	登録済み	営業部

**POINT** 部署・グループを編集し、ポリシーを設定できる

任意の部署・グループを作成してユーザーを割り振り、それぞれの運用スタイルに合わせてポリシーを設定できます。

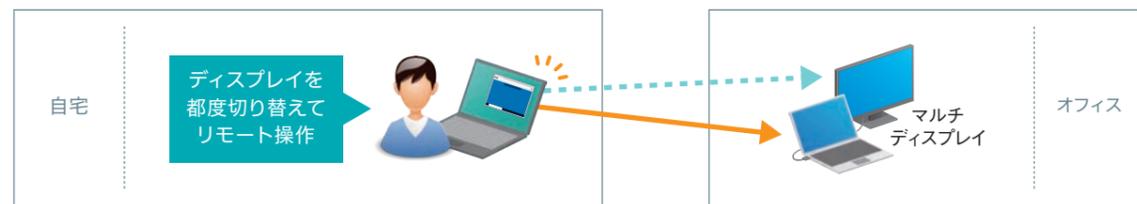
**設定可能な項目**

- 未操作時の自動切断
- 利用者PCと接続対象PC間のリダイレクト (オーディオ再生 / 録音デバイス)
- 利用者PCと接続対象PC間のファイルコピー
- 利用者PCと接続対象PC間のクリップボード共有

※1 部署情報は、CSV形式のファイルによる一括インポートも可能です。

## マルチディスプレイ環境でのリモート接続にも対応

接続対象PCでマルチディスプレイを利用している場合でも、ディスプレイを都度切り替ながらリモート操作することができます。また、操作対象のディスプレイの解像度が低い場合などに、表示画面の拡大・縮小がスムーズに行える機能もご用意しています。



## 操作が一定時間ない場合に自動切断、第三者によるリモート操作を抑止

リモート接続中に、事前に設定した時間が経過しても操作が行われなかった場合※2※3に、自動的に接続を切断します。リモート接続した状態で離席した場合などに第三者による操作を行えないようにし、セキュリティを強化できます。



※2 リモート接続環境でのキーボード・マウス入力が行われなかった場合を指します。※3 自動切断する時間は、5分～8時間の間で設定できます。

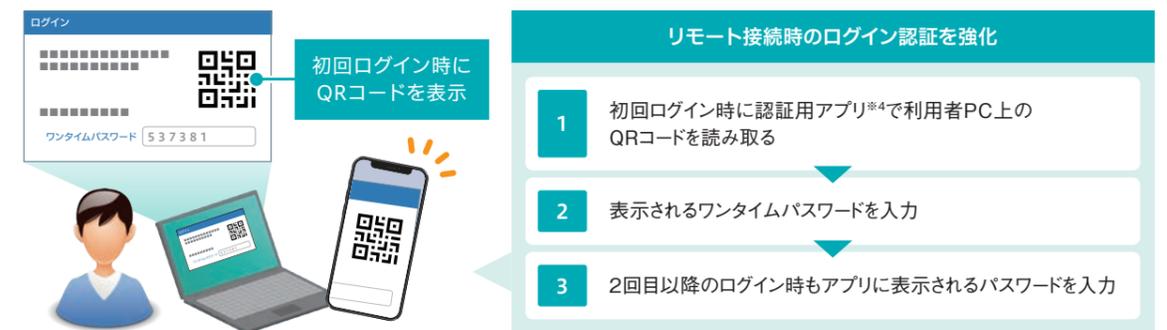
## インストーラーのダウンロード制限で、導入・運用をより安全に

「Remote Access Services」のご利用には、専用ソフトウェアを利用者PCにインストールする必要があります。利用者個人によるインストーラーのダウンロードを禁止に設定し、管理者からインストーラーを配布することで、導入・運用をよりセキュアに行えます。



## 二要素認証でリモート接続をよりセキュアに

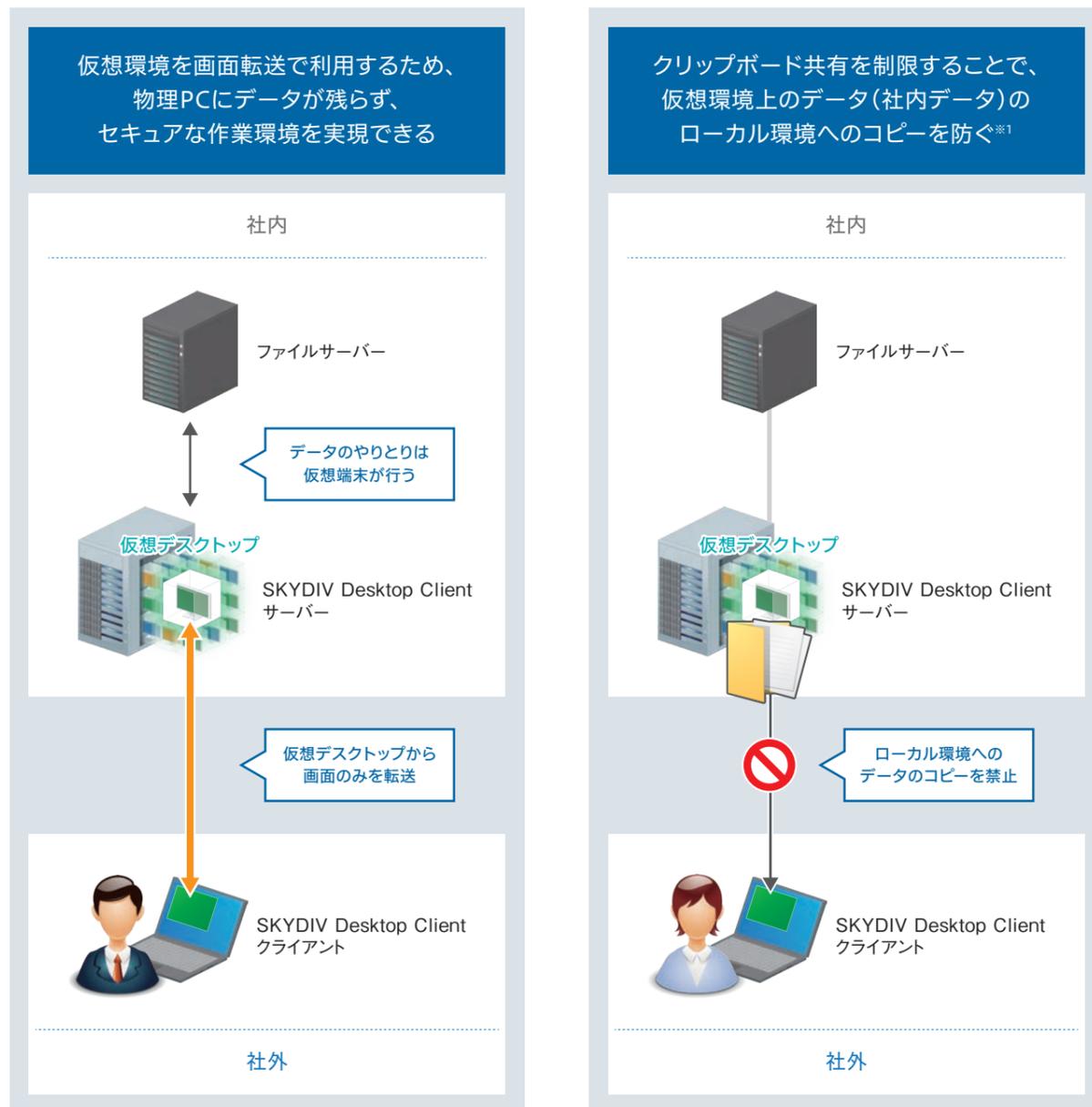
リモート接続時にアカウントとパスワードによるログインに加えて、スマートフォンに表示されるワンタイムパスワードでの認証を必須にし、セキュリティを強化できます。



※4 認証用アプリとしてGoogle AuthenticatorまたはMicrosoft Authenticatorをご利用いただけます。また、QRコードの読み取り以外に、シークレットキーによる初回認証を行うことも可能です。

## リモートワーク時のデータ漏洩リスクを軽減

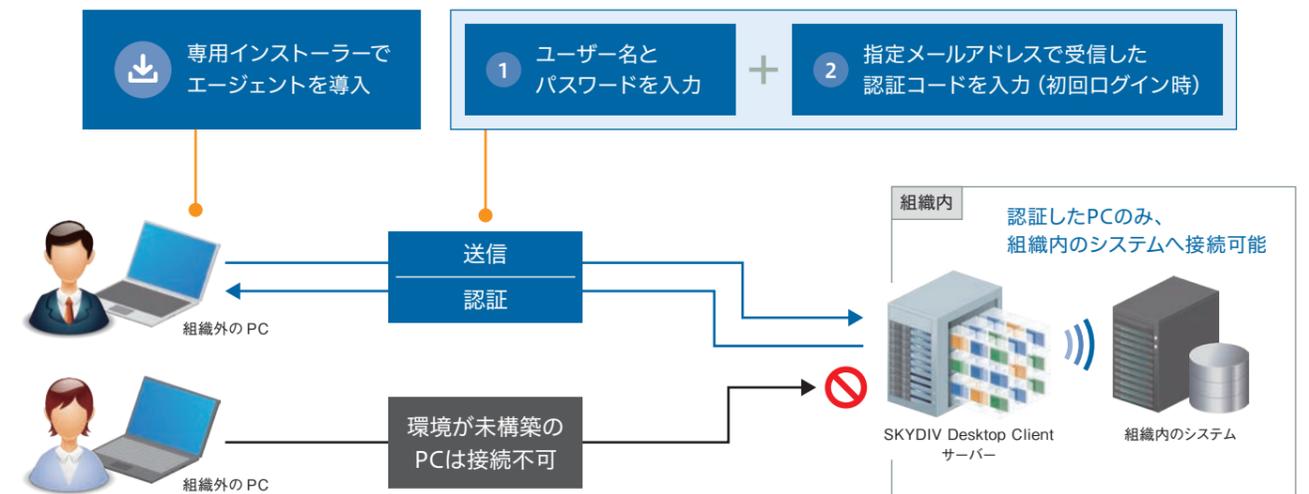
SKYDIV Desktop Clientでは、ユーザーの物理PCから仮想環境を通じて、社内のファイルサーバーなどのデータにアクセスします。物理PC上で直接、社内のデータを取り扱う必要がないため、万が一の紛失・盗難や、不正操作などによる情報漏洩リスクの軽減にお役立ていただけます。



※1 業務上必要な場合は、クリップボードの共有を許可する設定も可能です。

## 組織外でも安全に仮想環境をご利用いただくために

リモートワークなどで組織外のPC(私物のPCなど)をご利用いただく場合でも、安全に組織内のシステムに接続できる機能をご用意。暗号化された専用インストーラーをユーザー単位で作成したり、ユーザーの初回ログイン時に認証コードの入力を要求するなど、さまざまな仕組みでセキュリティの向上を図り、組織内と同様の仮想環境を利用できます。



### POINT

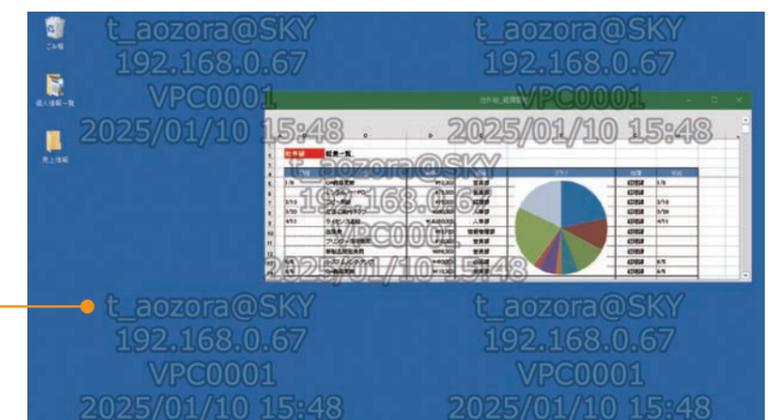
#### 専用のランチャーを用意し、組織外でのセキュリティを強化

組織外のPCで仮想環境を利用する際は、事前にインストールした専用ランチャーからしか利用できない仕組みを用意。また、管理者は、ランチャーのインストール・認証状況を管理画面上で確認することができます。

## デスクトップ画面を撮影しづらくし、情報持ち出しを抑制

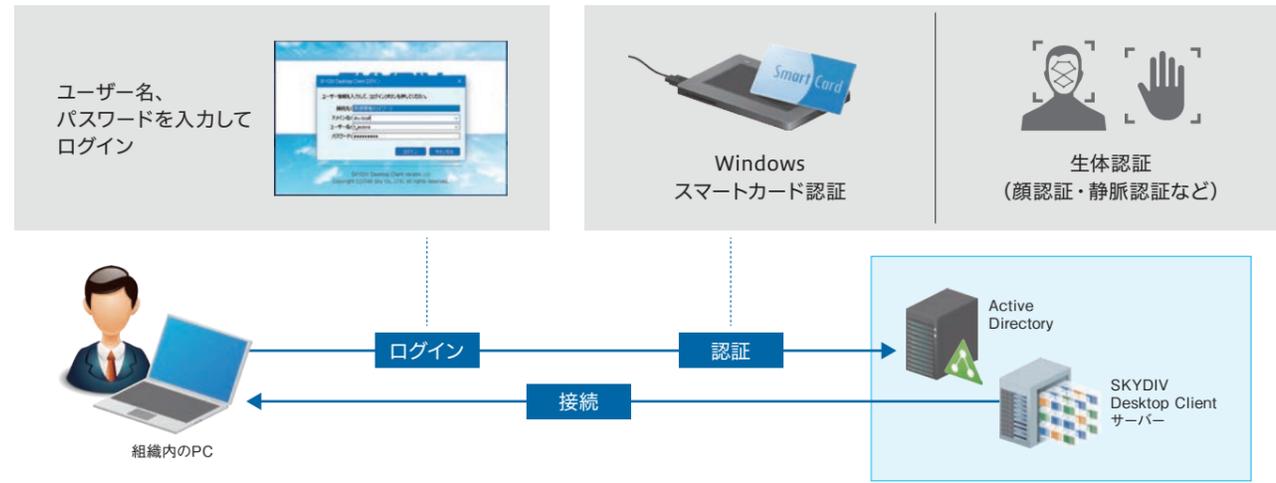
仮想デスクトップの画面上に透かし文字(ウォーターマーク)で、利用者のユーザー名などを表示。リモートワークなど、管理者の目が届きにくい場所で仮想環境を利用する場合に、スマートフォンでの撮影やキャプチャー操作などによる情報持ち出しを心理的に抑制します。

ユーザー名を表示することで心理的に撮影しづらい状態に



## 組織内での利用をスマートカード / 生体認証でよりセキュアに

組織内で利用される場合には、仮想端末を起動する際のパスワードに加えて、Windowsスマートカード認証や、顔認証・静脈認証などの生体認証を使って、より安全に仮想環境をご利用いただけます。すでに導入されている認証サービスをそのまま活用いただくこともできます\*1。



\*1 本機能で利用可能な認証サービスについては、弊社までお問い合わせください。

## ポリシー設定で、仮想環境利用時のセキュリティを強化

仮想環境での各種操作を制限することでセキュリティを強化します\*2。USBメモリやプリンターの使用禁止、ローカル環境とのクリップボード共有の禁止といった利用ポリシー設定や、リモート接続に関する設定が部署ごとに行え、ポリシーが正しく適用されているかを設定状況の一覧で確認することもできます。

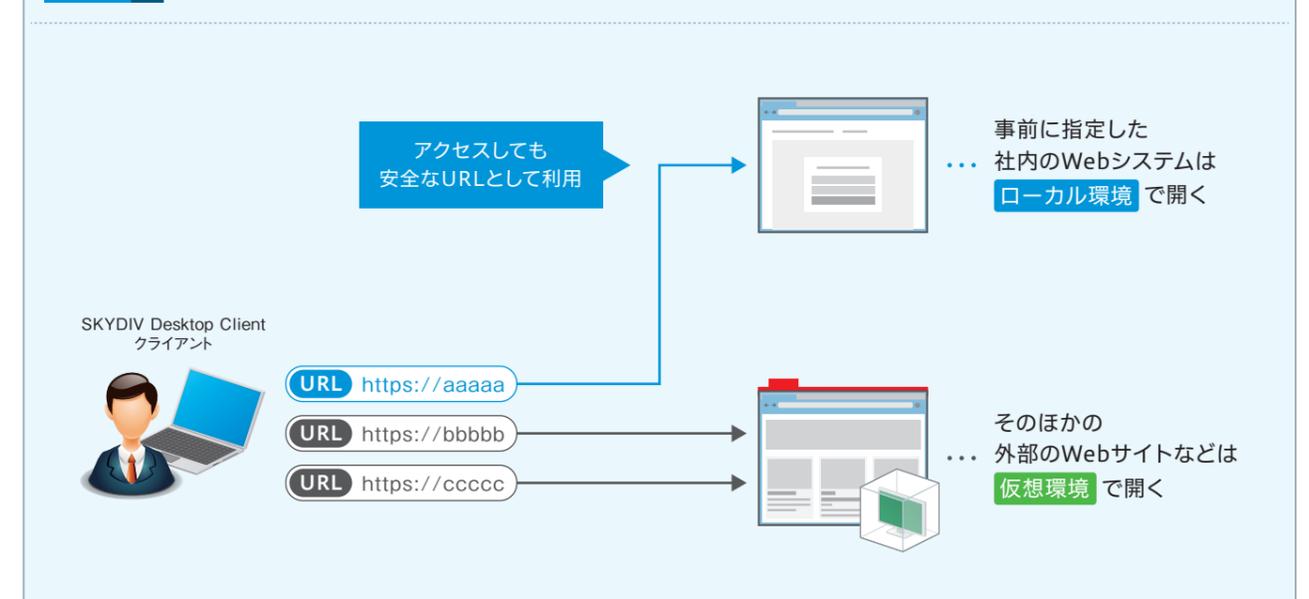


\*2 利用できる設定項目については、P.36をご覧ください。

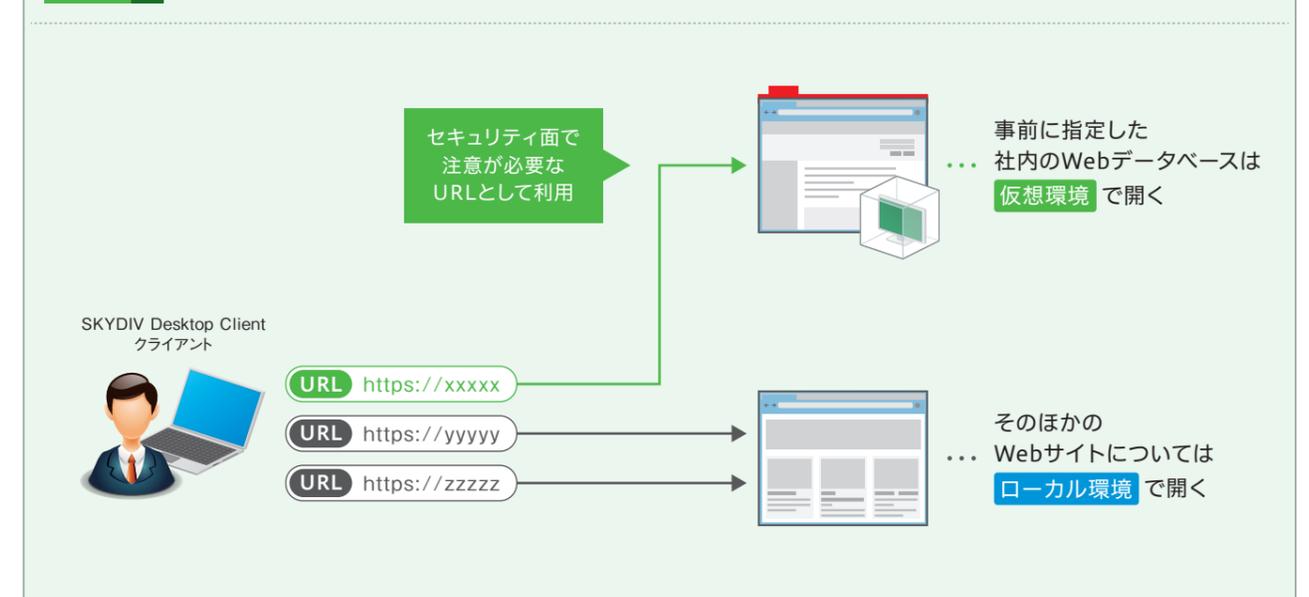
## ローカル / 仮想ブラウザを使い分けて、セキュアなWebアクセスを支援

メールなどに記載されたURLをクリックして開く際に、事前に指定したURLを自動的に仮想環境(またはローカル環境)で開くように設定できます。情報漏洩リスクを伴う外部のWebサイトなどは仮想環境でアクセスし、組織内の安全なWebシステムのみローカル環境で開く、といったWebブラウザの使い分けをユーザーが意識することなく行えます。

### 運用例 1 安全な社内システムのみローカル環境でアクセス

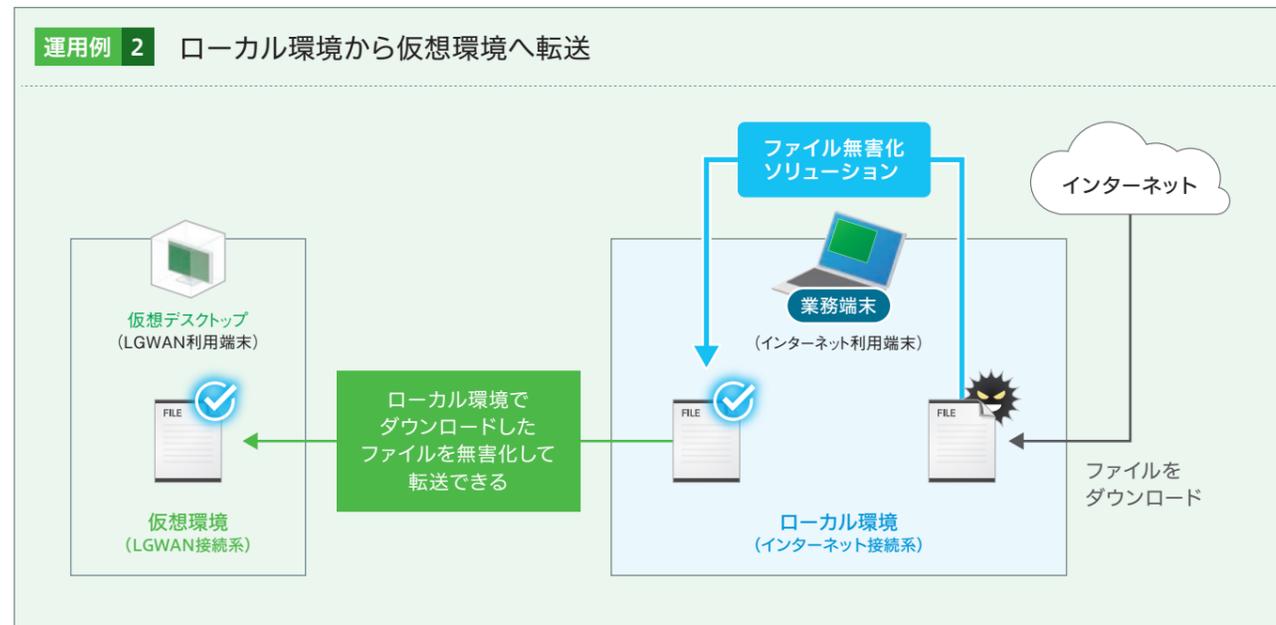
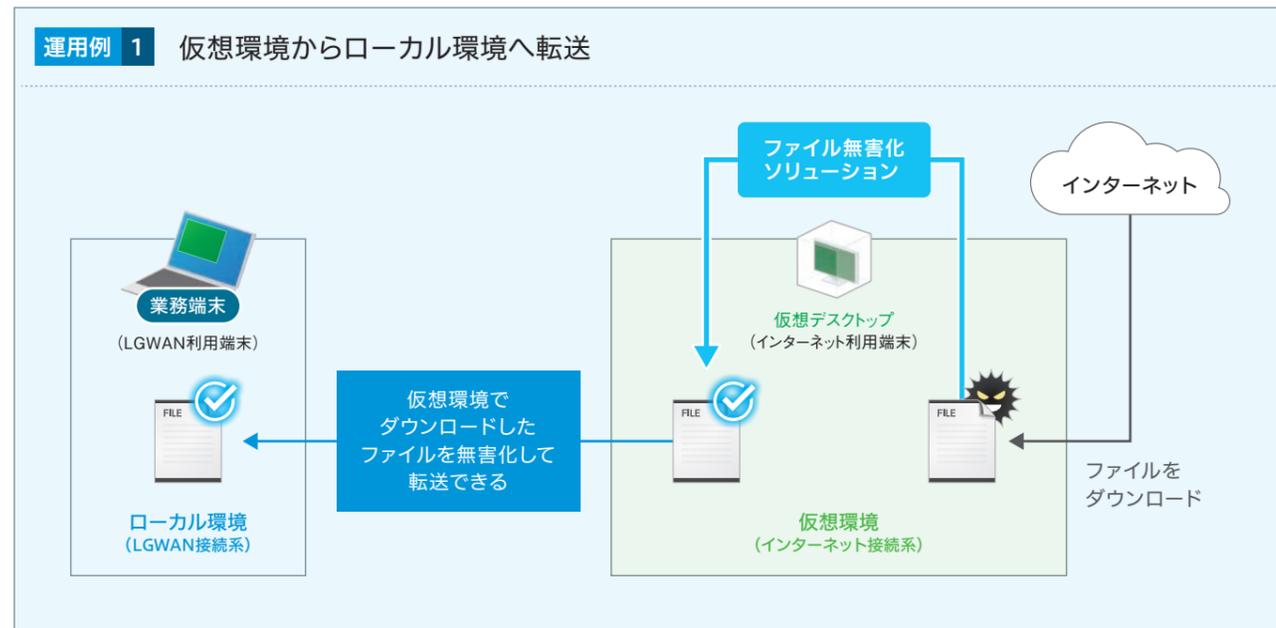


### 運用例 2 機密性の高いWebデータベースは仮想環境でアクセス



## ダウンロードファイルが無害化して安全にデータ転送 オプション

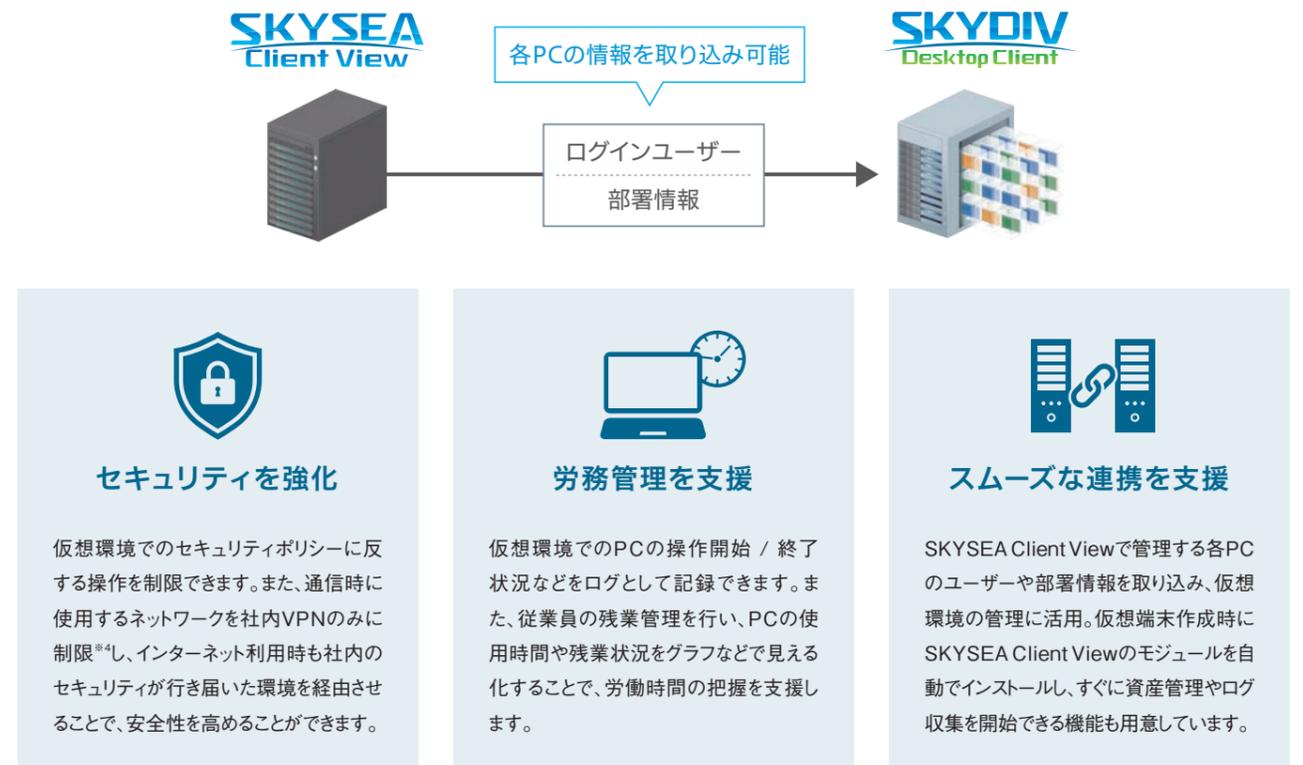
他社のファイル無害化ソリューション<sup>※1</sup>と連携し、仮想環境を利用中にWebサイトなどでダウンロードしたファイルが無害化<sup>※2</sup>。マルウェアの可能性のあるプログラムやマクロを取り除いて安全なファイルを作成し、ローカル環境に転送できます。ローカル環境でダウンロードしたデータを無害化して仮想環境に転送することもでき、自治体ネットワークにおける「βモデル」などの安全な運用を支援します。



※1 連携する各メーカー様の製品については、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/limit/>) をご覧ください。 ※2 ご利用には、SKYDIV Desktop Clientのライセンスのほか、SKYSEA Client ViewシンククライアントライセンスおよびSKYSEA Client View 申請・承認ワークフローシステムオプションが別途必要です。

## SKYSEA Client Viewと組み合わせた運用も<sup>※3</sup>

仮想端末にSKYSEA Client Viewをインストールすることで、仮想端末の操作ログ収集やセキュリティポリシー設定が行えます。リモートワーク時の労務管理やセキュリティ対策にも有効です。



### ご利用状況に合わせて使い分けることも

リモートワークで会社PCを持ち出し利用する際は、SKYSEA Client Viewで情報セキュリティ対策を適切に行った端末を使用。必要な台数が手配できなかった場合には、私物PCでSKYDIV Desktop Clientのセキュアな仮想環境を利用して業務を行うなど、製品を組み合わせた運用もご検討ください。



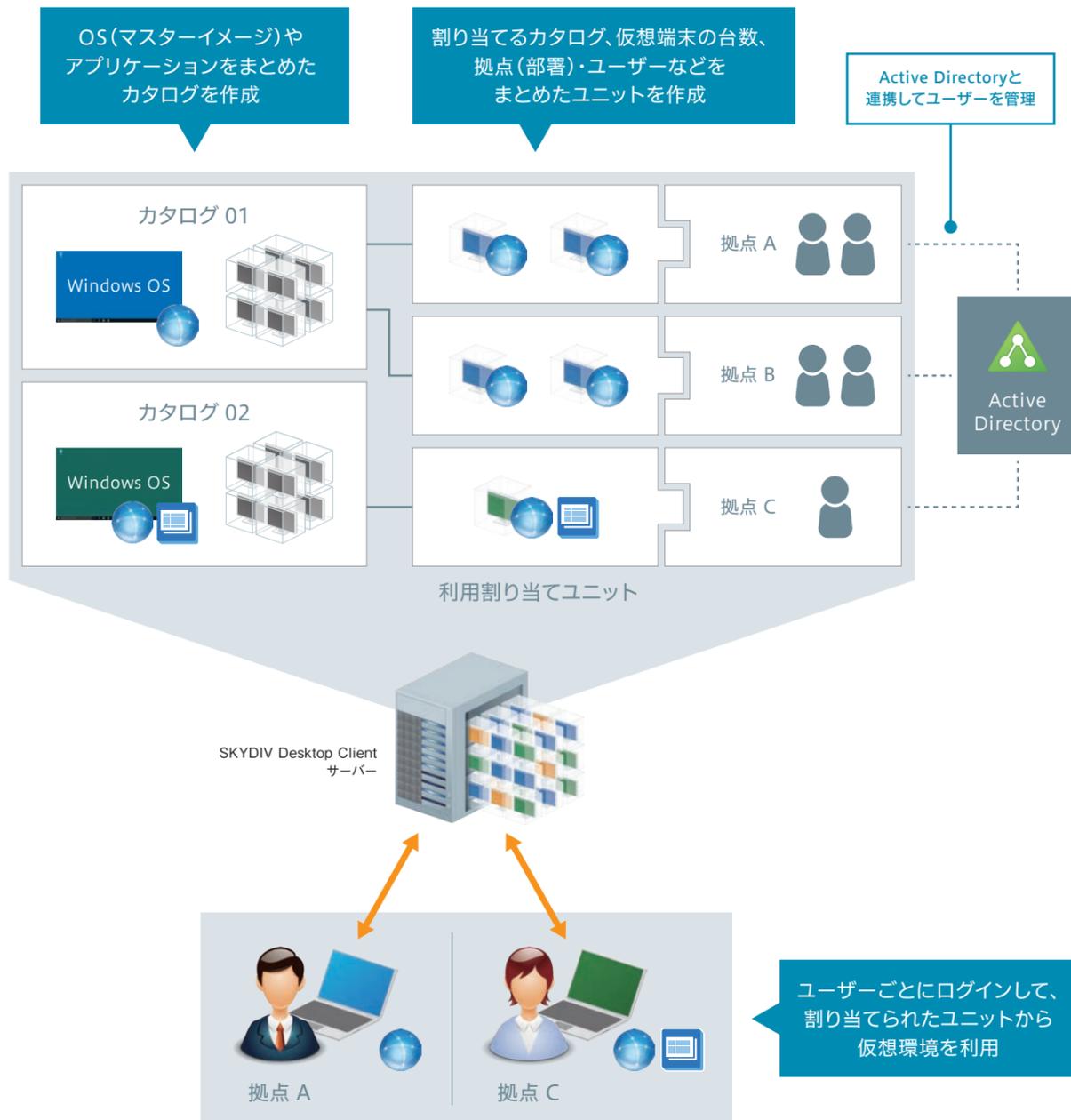
※3 SKYSEA Client Viewについては、P.45をご覧ください。 ※4 VPN接続制限は、SKYSEA Client Viewの「ITセキュリティ対策強化」機能（オプション）としてご利用いただけます。

## ユーザーへの仮想端末の割り当て、管理を支援

SKYDIV Desktop Clientでは、ユーザーが使用するOSやアプリケーションを1つにまとめた「カタログ」を管理画面上で準備し、部署やユーザーに割り当てることができます。カタログごとの仮想端末の割り当て状況や、ユーザーのログオン状況も一覧で把握でき、管理しやすいのが特長です。

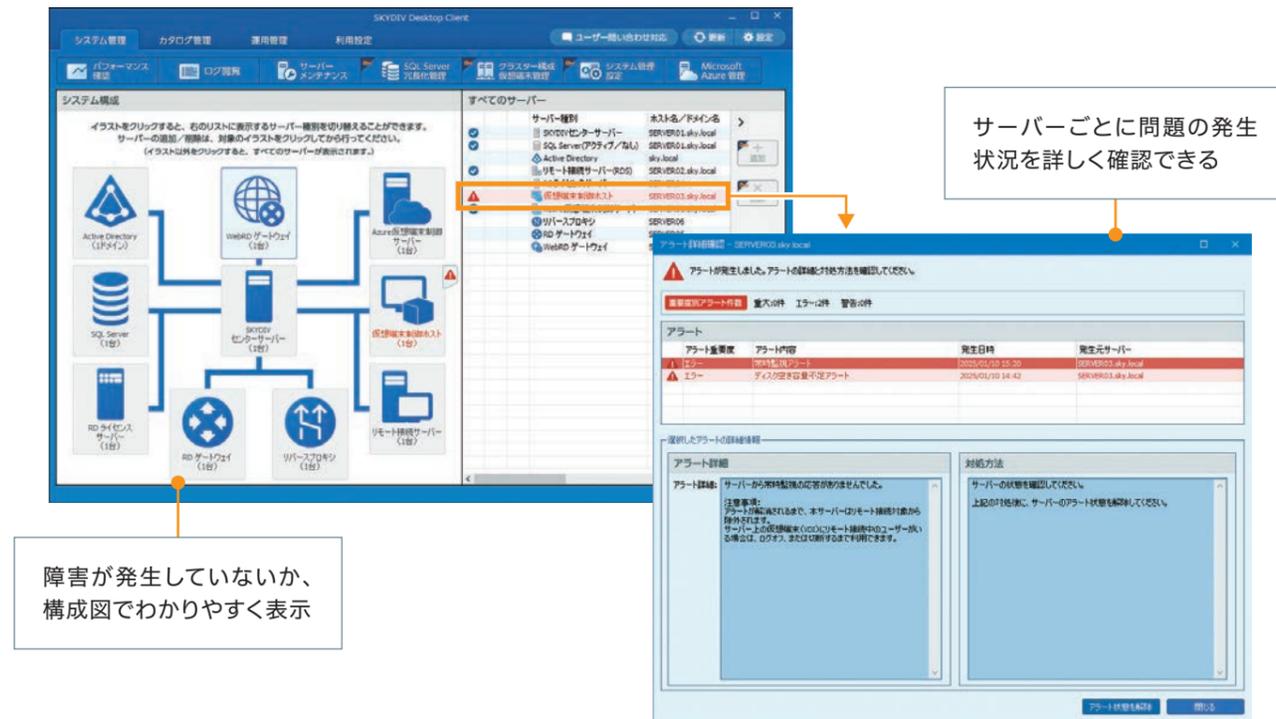
## 仮想端末の割り当て、利用状況の把握がしやすい管理画面を用意

カタログの作成や、部署・ユーザーへの仮想端末の割り当て、マスターイメージやユーザーの管理が管理画面上で行えます。カタログごとの仮想端末の割り当て状況や、ユーザーのログオン状況を一覧で把握することができ、管理しやすいのが特長です。



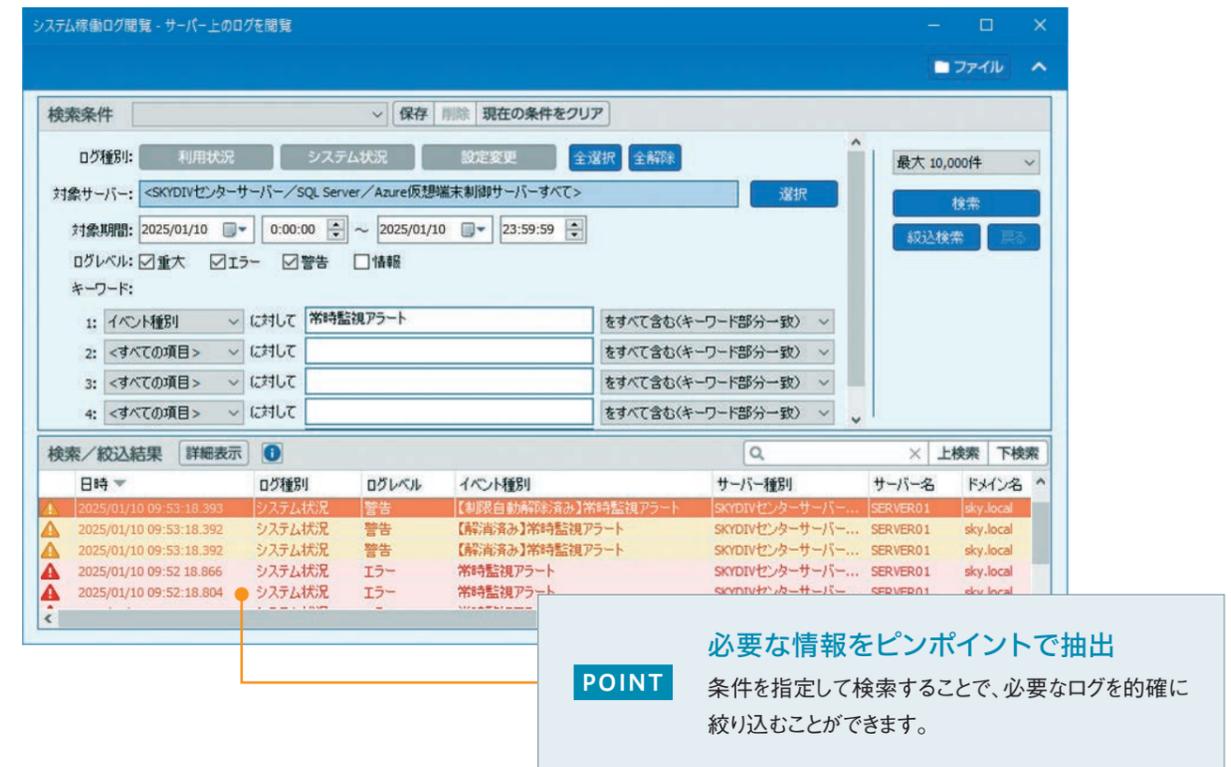
## サーバーの負荷・障害を可視化、素早い状況把握を支援

環境の構築に必要な各種サーバーの追加・削除や、パフォーマンスの確認など、必要な作業が画面上で行えます。また、センターサーバーから各サーバーへ定期的に通信確認を行い<sup>※1</sup>、通信できない場合は管理者に通知することも可能です。



## 複数サーバーのログを収集し、障害の切り分けなどを効率化

SKYDIV Desktop Clientが出力するシステム稼働ログや、OSが出力するイベントを収集・管理。サーバーの障害が発生した場合に、該当するサーバーのログを絞り込んで確認することで、原因の調査などに活用いただけます。



## サーバーのメモリ使用率やネットワーク負荷をグラフ表示

各サーバーのメモリ使用率やネットワークの送信・受信量など、パフォーマンスに関する情報をグラフで視覚的に確認できます。リソースの使用状況やネットワークの負荷状況など、サーバーの稼働状況を定期的に確認したり、トラブル発生時の状況把握や問題の切り分けに活用いただけます。

異常が検知されたサーバーを強調して表示<sup>※2</sup>



※1 各サーバーに対する常時監視設定を有効にしておく必要があります。 ※2 異常を検知するための各項目のしきい値を別途指定することができます。

### システム稼働ログ

管理者と利用者の操作など、SKYDIV Desktop Clientのシステムの動作状況に関するログを収集。

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログオン / ログオフ</li> <li>接続先のサーバー名</li> <li>組織外PCの認証状況</li> <li>仮想端末の割り当て失敗 など</li> </ul>
システム状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーの常時監視</li> <li>パフォーマンスのアラート発生</li> <li>電子証明書の期限切れ</li> <li>管理者へのアラートメールの送信失敗</li> <li>仮想端末をクラスターへ登録・移動・削除 など</li> </ul>
設定変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末の作成やバックアップ実行など、管理機で設定した操作履歴</li> </ul>

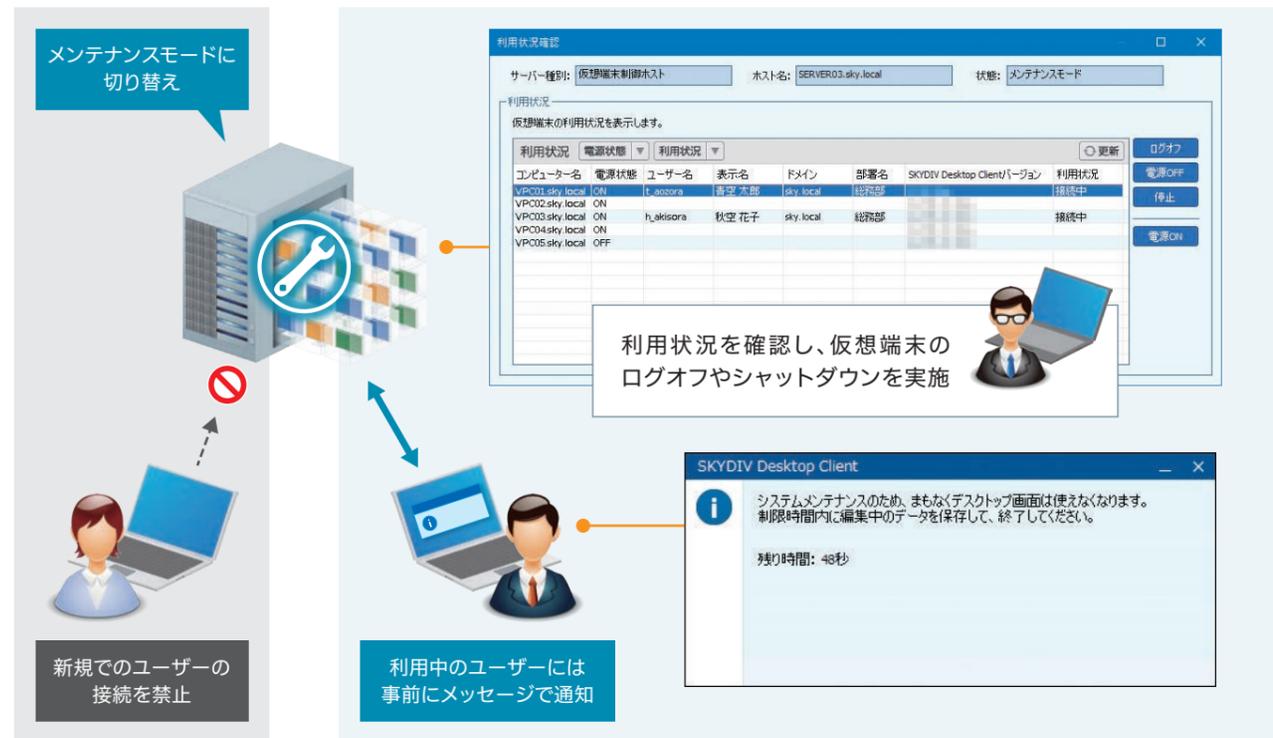
### イベントログ

各サーバーのWindowsイベントログをまとめて収集し、あらかじめ設定しておいたログが発生すると、アラートとして管理者に通知。

アプリケーション	セキュリティ	セットアップ	システム	転送されたイベント	リモート接続	Hyper-V
----------	--------	--------	------	-----------	--------	---------

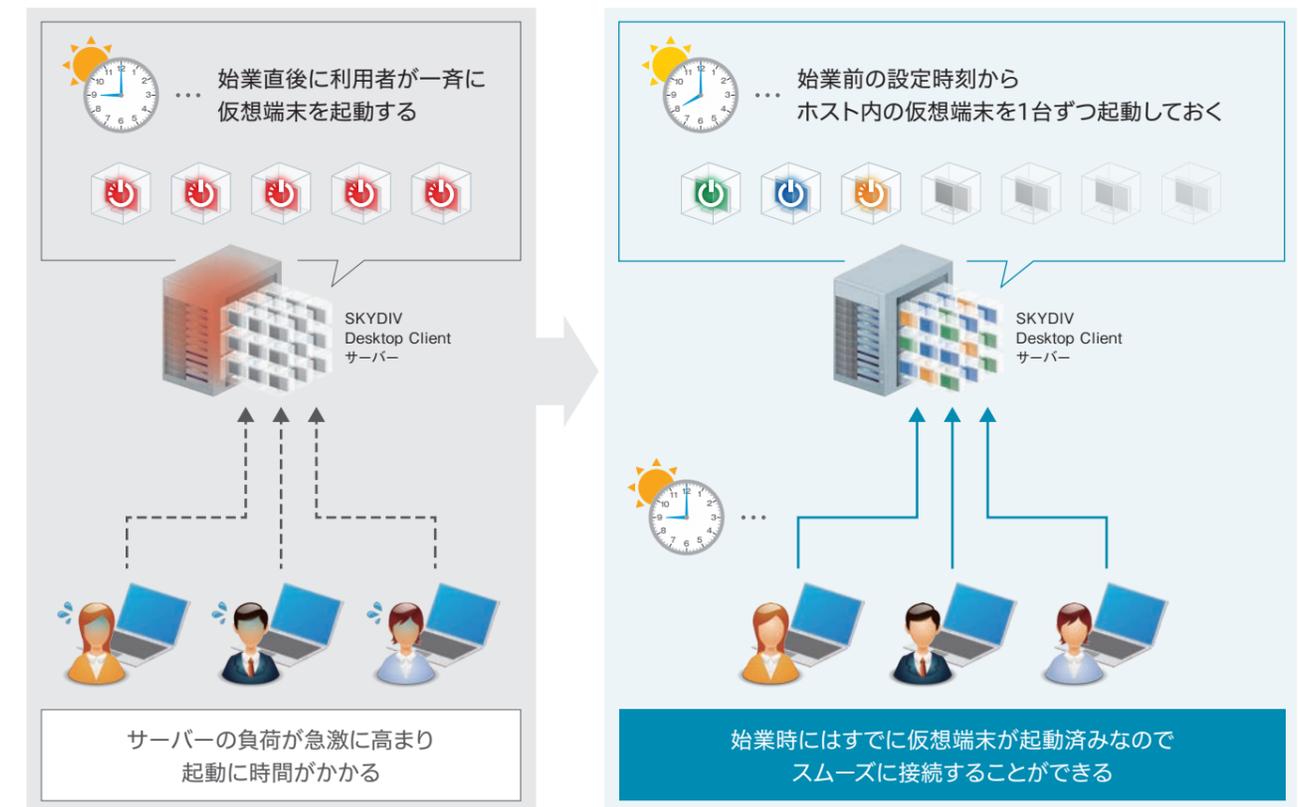
## ■ サーバメンテナンスなど、日々の管理業務をサポート

サーバのメンテナンス作業時に、仮想端末への新規の接続を禁止する「メンテナンスモード」へ素早く切り替えが行えます\*1。また、管理画面上で仮想端末の利用状況を確認したり、仮想端末のログオフ / 電源OFFも行え、スムーズに作業が開始できるよう支援します。



## ■ 朝の業務開始時に、仮想環境をスムーズに利用できるように

朝の始業時間に多台数のPCが仮想端末を一斉に起動しようとした場合には、サーバの負荷が急激に高まり、起動に時間がかかってしまうことがあります。管理者が事前に起動スケジュールを設定し、仮想端末制御ホスト内の仮想端末を順次起動しておくことで、各PCからスムーズに仮想端末に接続することができます。



**POINT** 仮想端末の詳細な起動スケジュールを設定

始業時間の何時間前から仮想端末の起動を開始させるかなど、定期的なスケジュール設定が可能です。夏季休暇や年末年始など、起動させない除外日程も指定しておくことで、長期的な起動スケジュールを組んでおくこともできます。

専用画面でモード切り替え、スケジュール設定が可能

仮想端末の接続状況をサーバごとの一覧で確認しながら、メンテナンスモードなどへの切り替えが行える画面を用意しています。定期的なメンテナンスに備えて、モードの切り替えをスケジュール設定しておくことも可能です。

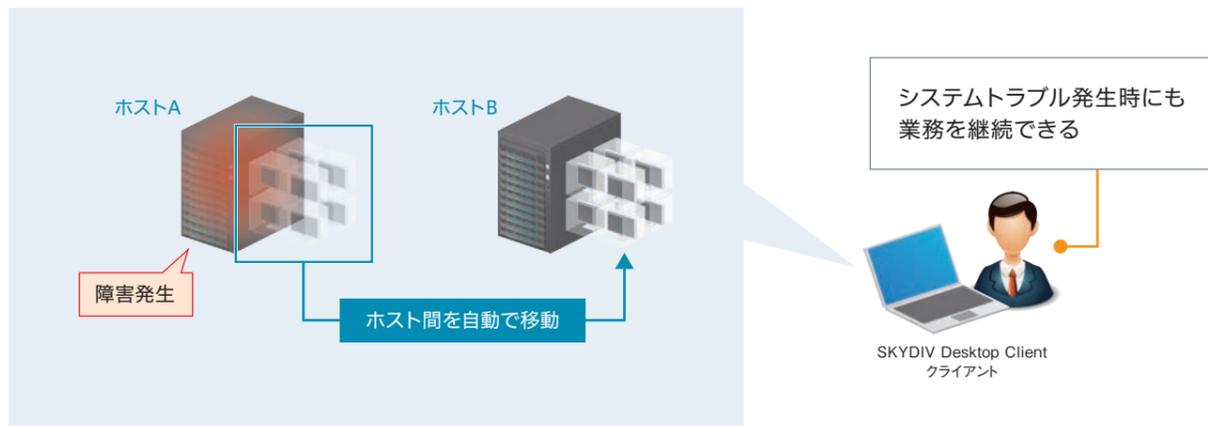
\*1 メンテナンスモードでは、サーバの常時監視の停止も行えます。

## ■ いつでも素早く使えるように仮想端末を常時起動

リンククローン(共有端末)を利用する場合に、仮想端末を常時起動しておくことで、ユーザーがいつでも素早く仮想端末に接続して使える環境をご用意。常時起動する仮想端末の台数は管理者側で設定でき、ご利用のサーバ環境に合わせた調整が行えます。

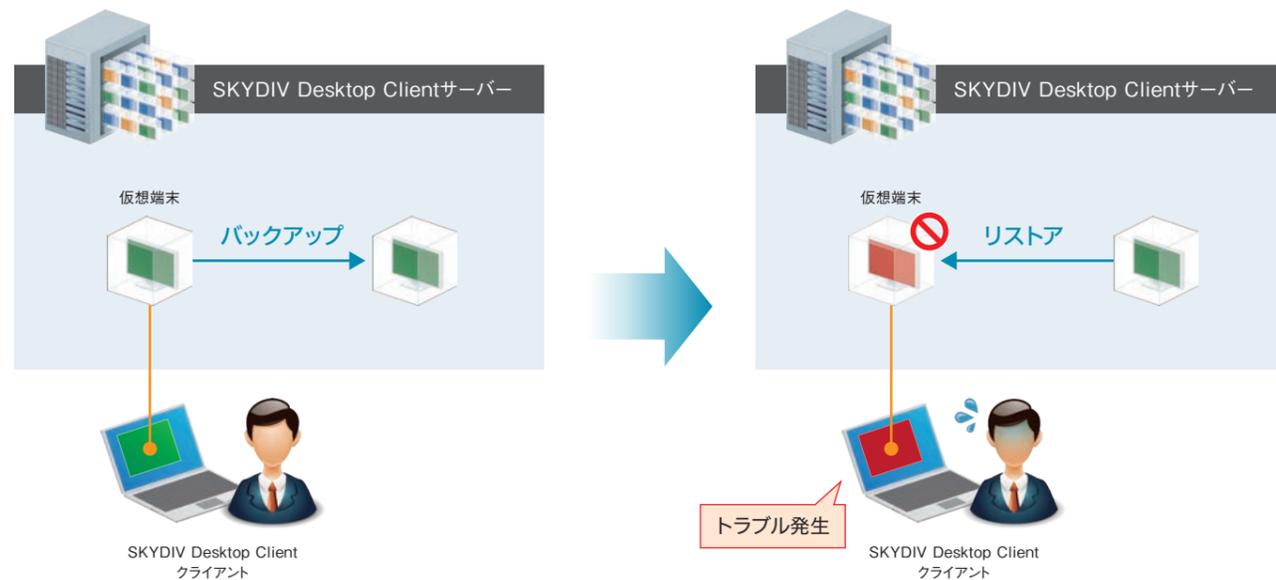
## 仮想環境を安心して使い続けられるシステムの構築に

サーバーの負荷分散や、万が一の障害発生に備えて、複数の仮想端末制御ホスト間で仮想端末の移動が可能な「クラスター環境」に対応。システムトラブルが発生した場合にも、業務停止期間を最小限に抑えることができます。管理画面上では、構築されたクラスター環境や各ホストに登録された仮想端末の状況などが確認でき、仮想端末を手動で移動させることもできます。



## 万が一に備えて、仮想端末ごとの自動バックアップにも対応

仮想ディスクの破損や、仮想端末のウイルス感染などのトラブルが発生した場合を想定し、個々の仮想端末のデータをバックアップ、リストアできる機能を搭載<sup>※1</sup>。定期的なバックアップが正常に行われていない場合には、管理者にアラート通知する仕組みも用意しています。



※1 VDI方式のフルクローン(専用端末)環境に対応しています。

## 万が一のトラブル発生時も、状況把握をスムーズに

仮想端末が起動できないなどの問題が起きた場合には、問い合わせ番号が記載されたエラーメッセージを利用者のPC画面に表示<sup>※2</sup>。利用者が状況をうまく説明できない場合でも、管理者はその番号からトラブルの詳細を把握できるため、対処が素早く行えます。

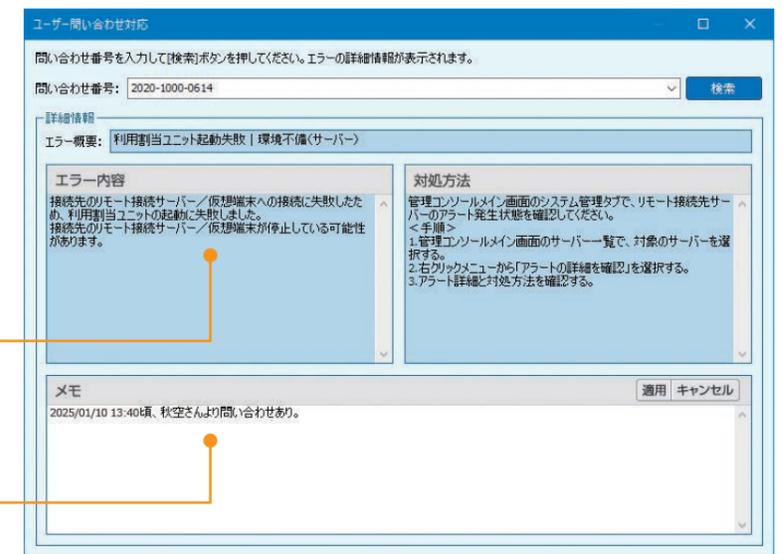


### エラー内容の把握と迅速な対応を支援

管理者は、ユーザーからの問い合わせ番号を専用画面で検索することで、エラー内容と対処方法を確認できます。

問い合わせ番号を入力するとエラーの詳細を表示

対応状況などをメモ欄に入力しほかの管理者と共有も可能



※2 問い合わせ番号が表示されないエラーメッセージもあります。

## 機能更新プログラムの仮想端末への適用をスムーズに

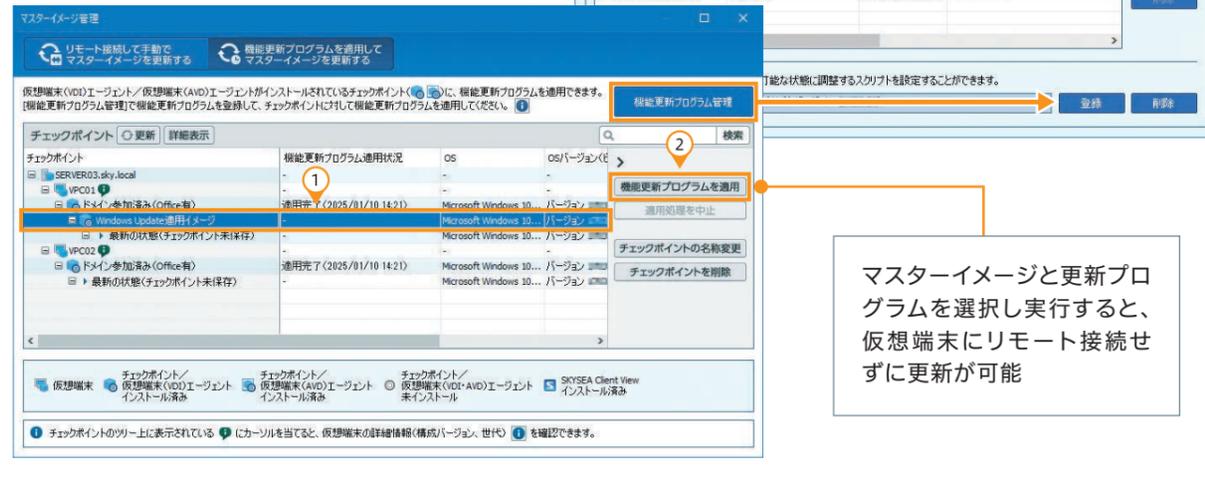
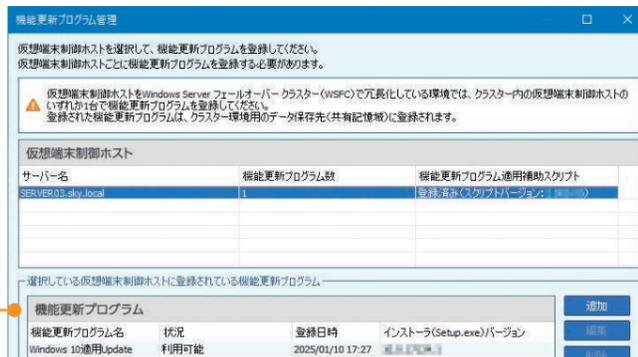
仮想端末に対する、Windows OSの機能更新プログラムの適用を支援します。VDI方式をご利用の場合に、管理画面上で機能更新プログラムとマスターイメージを選んで実行することで、仮想端末にリモート接続せずにアップデートが行え、作業効率化につながっていただけます。

### 更新プログラム適用に必要な作業



### 必要な作業を簡略化し、管理者の負荷を軽減

適用対象の機能更新プログラムを事前にダウンロードし、仮想端末制御ホストに登録



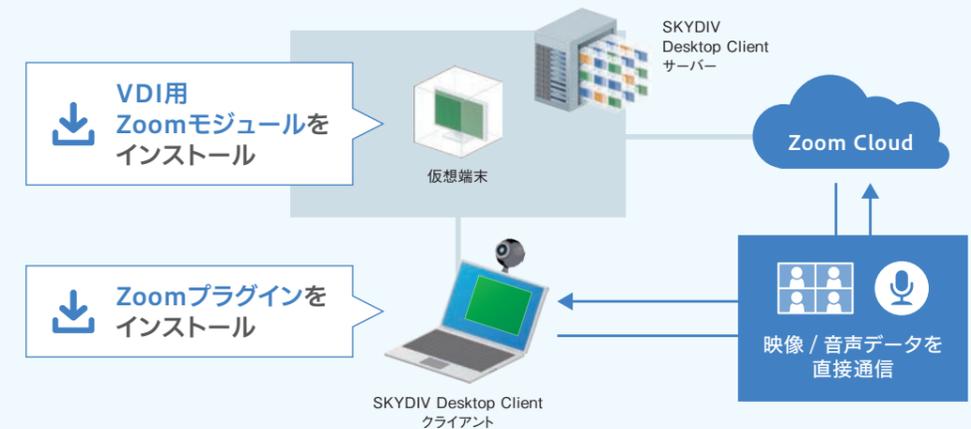
マスターイメージと更新プログラムを選択し実行すると、仮想端末にリモート接続せずに更新が可能

## SKYDIV Desktop Clientの更新作業をより手軽に

仮想端末のカタログ更新時や、ユーザーがランチャーを起動する際に、自動でアップデートや更新プログラムの適用が行われる設定を用意。仮想端末制御ホストなどのサーバーの自動アップデートも行え、更新作業を効率的に実施していただけます。

## 仮想端末で「Zoom」を安定してご利用いただくために

「Zoom」をご利用の場合に、仮想端末とお客様が使用されるPCの両方にVDI用Zoomモジュールやプラグインをインストールすることで、Web会議中のネットワーク負荷を軽減できます。(詳しい導入手順については、「保守契約ユーザー用Webサイト」をご覧ください。)



## 画質・オーディオ調整でWeb会議システムの快適な利用を支援

仮想端末上でWeb会議システムを利用する際に、Webカメラで取り込む画像の設定などを管理者が一括で行えます。使用するカメラの種類に関係なく画質や通信帯域が調整でき、ネットワーク負荷を軽減することで安定してWeb会議システムをご利用いただけます。



### POINT

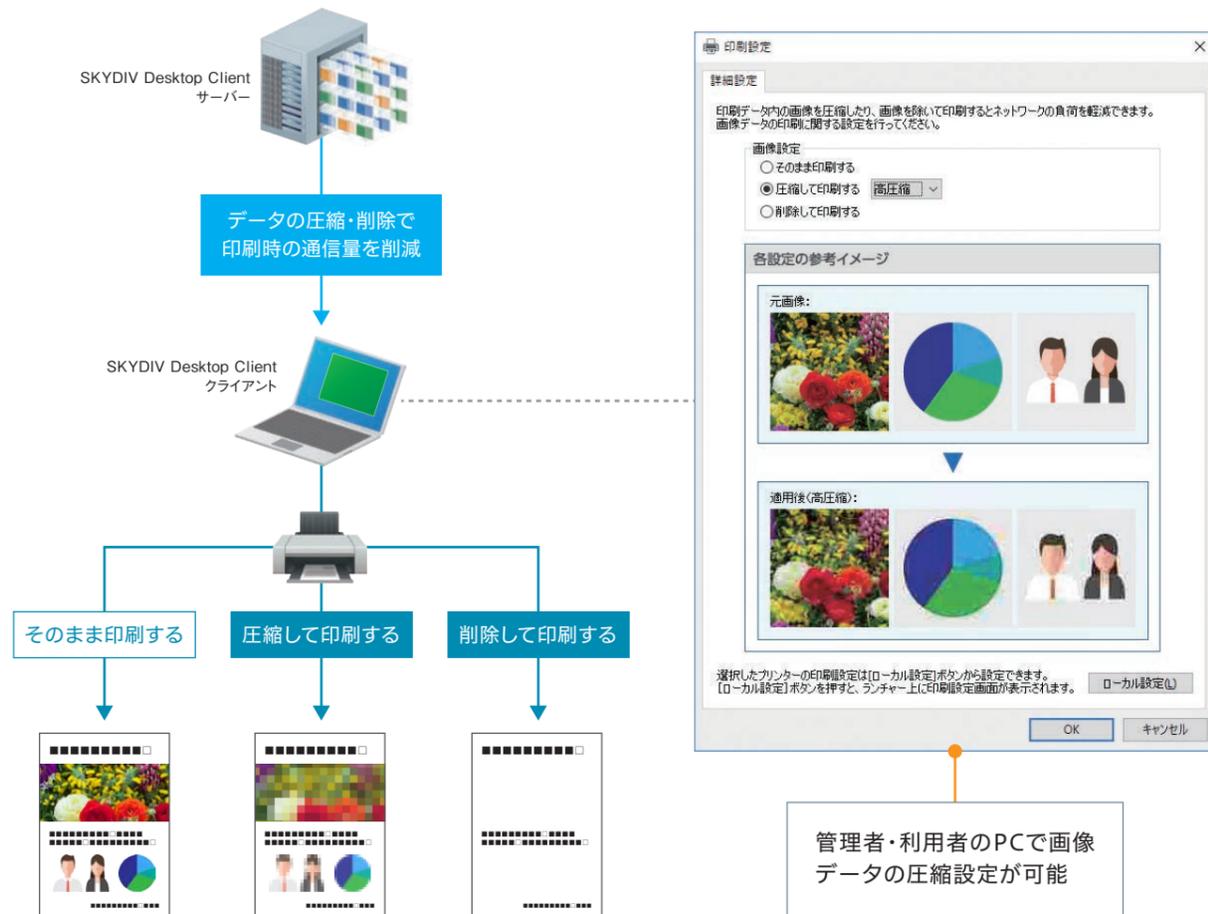
独自の仮想オーディオデバイス(マイク / スピーカー)をご利用いただくことで、Web会議中のノイズを軽減し、音質の向上が図れます。



利用者のPCでも画質や通信帯域の調整が可能

## 印刷時のネットワーク負荷をデータ圧縮で軽減

仮想端末上で印刷処理を行う場合に、独自の仮想プリンターを用意して画像を圧縮・削除することで、サーバーとクライアントPC間のネットワーク負荷を軽減。仮想環境の快適な利用を支援します。



## 重要なシステム管理業務を特定のユーザーに限定

Microsoft SQL Serverの冗長化管理など、重要な管理業務に関する操作権限を、特定の管理者(特権管理者)に限定することで、セキュリティの強化を図ることができます。特権管理者は、Active Directoryのセキュリティグループ単位で指定できます。

■ 特権管理者のみ許可される主な操作

Microsoft SQL Serverの冗長化管理	システム稼働ログの設定	イベントログの設定
各種サーバーの追加・設定・削除	管理ユーザーの設定	アラート通知メールの設定

## エージェントを導入せずに、Webブラウザですぐアクセス

利用者のPCにSKYDIV Desktop Clientのエージェントをインストールしていない場合でも、Webブラウザを使って仮想環境をご利用いただけます<sup>※1</sup>。利用者は、管理者が指定したURLにアクセスすることで、すぐに利用を開始できます。



### POINT 1

#### データをコピーさせない運用も

お客様のセキュリティポリシーに応じて、仮想環境とローカル環境間のクリップボード共有を許可 / 不許可に設定できます。

### POINT 2

#### セキュリティ設定でさらに運用を安全に

Webブラウザでのアクセスを許可するユーザーや、初回利用時に認証コード入力を失敗できる上限回数などを設定することで、セキュリティをさらに強化できます。

※1 利用可能なWebブラウザについては、Webサイト ([https://www.skydiv.jp/limit/v7\\_0.html](https://www.skydiv.jp/limit/v7_0.html)) をご覧ください。

## お客様の運用環境に合わせて、 さまざまな仮想方式をご用意しています

SKYDIV Desktop Clientでは、「VDI方式」「SBC(RDS)方式」「仮想ブラウザ方式」の3つの仮想方式をご用意。お客様の仮想環境の用途に合わせて、それぞれを組み合わせてご利用いただけます。また、クラウド環境でのご利用も可能です。

### クラウド環境にも対応

オンプレミス環境だけでなく、パブリッククラウド「Microsoft Azure」上でもVDI方式 / SBC(RDS)方式の環境をご利用いただけます。AVD(Azure Virtual Desktop)環境でのご利用<sup>※1</sup>にも対応しています。

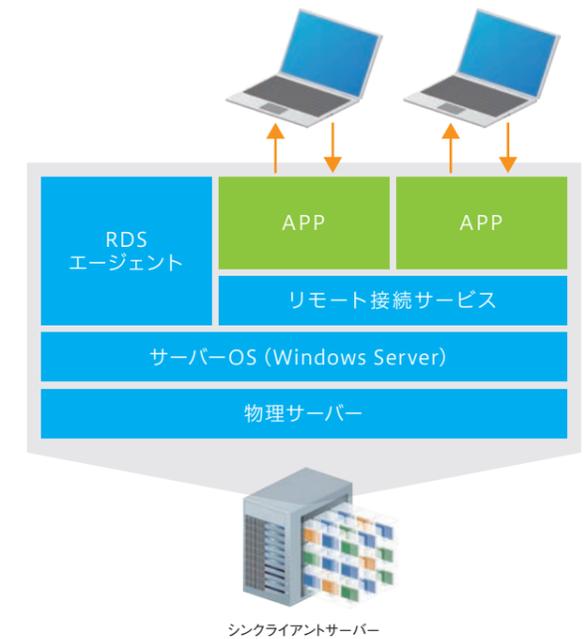


※1 Azure上にサーバーOSの仮想環境を作成し、ユーザーに提供することができます。仮想環境は、複数のユーザーがマルチログインで同時に利用することができます。Windows 10マルチセッションには対応しておりません。

### SBC (RDS) 方式

#### Server Based Computing

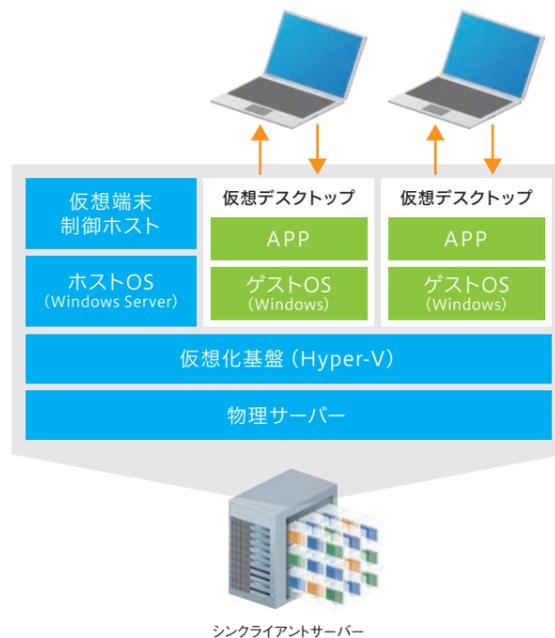
SBC(RDS)方式は、サーバーOS上で動作するアプリケーションを各端末で共有することになるため、VDI方式に比べて使用できるソフトウェアは限られますが、サーバーのCPUやメモリ、ストレージの利用効率が高く、コスト削減が期待できます。限られたソフトウェアのみ使用する環境に適した方式です。



### VDI 方式

#### Virtual Desktop Infrastructure

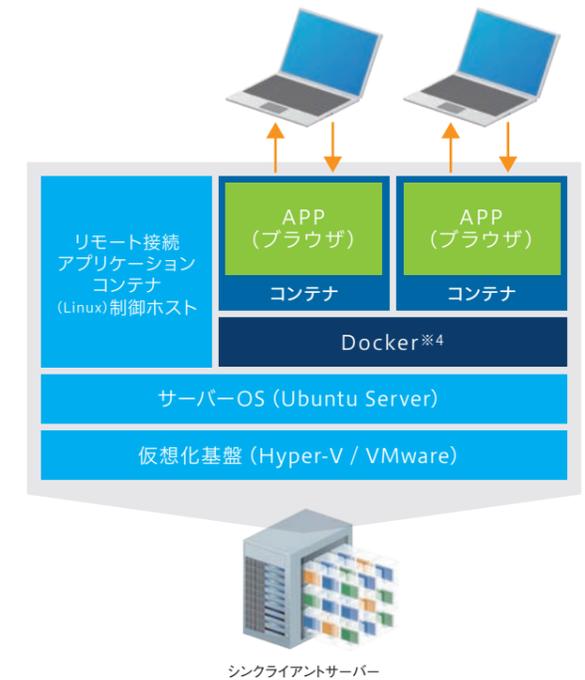
VDI方式では、サーバー上に作成された個々の仮想端末でアプリケーションを使用するため、物理PCとほぼ同じ自由度の高い実行環境で多くのソフトウェアを使用することができます。WindowsなどのクライアントOSで利用するソフトウェアも使えることが特長です。



### 仮想ブラウザ方式

#### (Linux)

Linuxのサーバー上で動作するWebブラウザ<sup>※2</sup>の画面のみを物理端末に転送し、操作する方式です。RDS CAL<sup>※3</sup>が不要なため、SBC(RDS)方式に比べてさらにコスト削減が期待できます。ご利用時には、Windowsの標準フォントやプラグインなどの互換性について注意が必要です。



※2 利用可能なWebブラウザについては、Webサイト ([https://www.skydiv.jp/limit/v7\\_0.html](https://www.skydiv.jp/limit/v7_0.html)) をご覧ください。 ※3 Windows Server Remote Desktop Services CAL ※4 SKYDIV Desktop Clientでは、条件により有償となるDocker Desktopではなく、Docker Community Editionを使用しているため、無償にてご利用いただけます。

# 機能一覧

システム管理	
システム構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>RDライセンス設定</li> <li>仮想端末スケジュール設定</li> <li>仮想端末ネットワーク設定</li> <li>仮想端末バックアップ設定</li> <li>データベース切替</li> <li>拡張通信接続制御サーバー設定</li> <li>環境設定</li> </ul>
パフォーマンス確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSVファイル(エクスポート)</li> <li>パフォーマンス監視設定</li> </ul>
ログ閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム稼働ログ閲覧</li> <li>イベントログ閲覧</li> <li>CSVファイル(エクスポート)</li> <li>アラート設定(イベントログ)</li> </ul>
サーバーメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常モードに切替</li> <li>リモート接続新規受付モードに切替</li> <li>メンテナンスモードに切替</li> <li>利用状況確認</li> <li>スケジュール設定</li> </ul>
SQL Server冗長化管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>冗長化(クラスター)構成の作成</li> <li>補助サーバー変更</li> <li>今すぐ切替(スイッチオーバー)</li> <li>自動切替設定(フェールオーバー)</li> <li>同期設定(レプリケーション)</li> <li>冗長化(クラスター)構成の解除</li> </ul>
クラスター構成 仮想端末管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスターに登録</li> <li>別のホストに移動(ライブマイグレーション)</li> <li>別のホストに移動(クイックマイグレーション)</li> <li>クラスターから削除</li> <li>クラスター設定</li> <li>仮想端末制御ホスト設定</li> <li>機能概要表示</li> </ul>
システム管理設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者設定</li> <li>アラート制限自動解除設定</li> <li>通知設定</li> <li>ログ設定</li> <li>仮想端末設定</li> <li>SKYDIVアップデート設定</li> </ul>
Microsoft Azure管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブスクリプション管理</li> <li>リソースグループ管理</li> <li>イメージ管理</li> <li>ベースイメージ(AVD用)管理</li> <li>ストレージアカウント確認</li> <li>仮想端末サイズ / 台数確認</li> <li>アラート設定</li> <li>機能概要表示</li> </ul>

カタログ管理		
カタログ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末 (VDI) カタログ (共有端末 / 専用端末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末操作(追加)</li> <li>仮想端末操作(再作成 / 更新)</li> <li>仮想端末操作(設定変更)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末 (Azure VDI) カタログ (共有端末 / 専用端末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末操作(追加)</li> <li>仮想端末操作(再作成 / 更新)</li> <li>仮想端末操作(設定変更)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続サーバー (RDS) カタログ (デスクトップ公開 / アプリケーション公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続操作(接続上限数変更)</li> <li>リモート接続操作(公開デスクトップ / アプリケーション変更)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続サーバー (AVD) カタログ (デスクトップ公開 / アプリケーション公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮想端末操作(追加)</li> <li>仮想端末操作(再作成 / 更新)</li> <li>仮想端末操作(設定変更)</li> <li>リモート接続操作(接続上限数変更・公開デスクトップ / アプリケーション変更)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続サーバー (Linux) カタログ (アプリケーション公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続操作(接続上限数変更・公開アプリケーション変更 / 更新)</li> <li>リモート接続操作(SKYDIV更新)</li> </ul>
カタログ編集		
カタログ削除		
マスターイメージ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート接続して手動でマスターイメージを更新する</li> <li>機能更新プログラムを適用してマスターイメージを更新する</li> </ul>	

運用管理	
利用割当ユニット管理	
ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属ユーザー / OU管理</li> <li>組織外端末用インストーラー管理</li> <li>組織外端末用ランチャー管理</li> <li>タブレット端末利用管理</li> <li>Webランチャー利用管理</li> <li>対応OS表示</li> </ul>
運用管理設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランチャー設定</li> <li>インストール用通知設定</li> <li>表示設定</li> </ul>

利用設定	
セキュリティ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署別設定</li> <li>カタログ別設定</li> <li>利用割当ユニット別設定</li> <li>組織外利用設定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定項目(詳細設定 - ユーザー認証)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランチャー利用時にシングルサインオンする</li> <li>ランチャーログイン時に前回ログインしたユーザーを初期選択する</li> <li>ランチャーログイン時にActive Directoryユーザーのパスワードの変更を許可する</li> <li>ランチャー起動後にマウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的にログアウトする</li> <li>Webランチャー上でマウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的にログアウトする</li> <li>タブレット端末の仮想端末 / アプリ起動時にSKYDIV Desktop Clientのユーザー認証を要求する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定項目(詳細設定 - ドライブ / デバイス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクドライブの利用を禁止する</li> <li>「仮想端末 / アプリ」から「ディスクドライブ」へのデータのコピー / 移動を禁止する</li> <li>RemoteFX USBデバイスの利用を許可する</li> <li>特定のデバイス種別をRemoteFX USBリダイレクトの対象から除外する</li> <li>USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブの利用を禁止する</li> <li>SKYSEA Client Viewによってシンクライアント端末(利用者PC)上で禁止されたRemoteFX USBデバイスをリモート接続先で利用する</li> <li>「仮想端末 / アプリ」から「USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブ」へのデータのコピー / 移動を禁止する</li> <li>USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブ以外の利用を禁止する</li> <li>RemoteFX USBデバイスを自動リダイレクトする</li> <li>スマートカードデバイスの利用を禁止する</li> <li>COMポート(シリアルポート)の利用を禁止する</li> <li>LPTポート(パラレルポート)の利用を禁止する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定項目(詳細設定 - プリンター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンクライアント端末(利用者PC)のプリンターの利用を禁止する</li> <li>通常使うプリンターの設定をシンクライアント端末(利用者PC)から引き継がない</li> <li>プリンター利用時にリモート デスクトップEasy Printを優先して実行する</li> <li>シンクライアント端末(利用者PC)の「通常使うプリンター」のみ利用する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定項目(詳細設定 - オーディオ / ビデオ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ / ビデオの音声をシンクライアント端末(利用者PC)で再生する</li> <li>オーディオ / ビデオ再生時の音質を制限する</li> <li>オーディオ録音デバイスの利用を許可する</li> <li>ビデオキャプチャーデバイスの利用を禁止する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定項目(詳細設定 - ブラウザ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンクライアント端末(利用者PC)でのWeb閲覧時に公開アプリケーションのブラウザを自動起動する</li> </ul>

利用設定		
セキュリティ設定	● 設定項目(詳細設定 - スマートカード認証 RD ゲートウェイ経由接続時の認証)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スマートカードを利用する</li> <li>◆ 「拡張キー使用法(EKU)」が含まれない証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する</li> <li>◆ 楕円曲線暗号(ECC)証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する</li> </ul>
	● 設定項目(詳細設定 - スマートカード認証 仮想端末 / アプリ利用時の認証)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スマートカードを利用する</li> <li>◆ スマートカードが取り外された場合の動作を指定する</li> <li>◆ 「拡張キー使用法(EKU)」が含まれない証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する</li> <li>◆ 楕円曲線暗号(ECC)証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する</li> </ul>
	● 設定項目(詳細設定 - その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ デスクトップ / アプリ利用時の認証でネットワークレベル認証を有効にする</li> <li>◆ 「仮想端末 / アプリ」からのクリップボードの共有を禁止する</li> <li>◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」からのクリップボードの共有を禁止する</li> <li>◆ 「アプリ」からのファイルのコピーを許可する</li> <li>◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」からのファイルのコピーを許可する</li> <li>◆ 仮想端末 / アプリで表示する時刻をシンクライアント端末(利用者PC)のタイムゾーンに合わせる</li> <li>◆ RD ゲートウェイ経由接続時の認証方法を指定する</li> <li>◆ 仮想端末 / アプリ画面上にウォーターマーク(透かし)を表示する</li> <li>◆ コンテナにルート証明書 / 中間証明書を配布する</li> <li>◆ リモート接続開始時に共有フォルダを自動的にマウントする(利用可能な状態にする)</li> </ul>
	● 設定項目(リダイレクト設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 利用者PC上で認識しているディスクドライブ</li> <li>◆ USB(RemoteFX)で接続されたディスクドライブ</li> <li>◆ SKYSEA Client Viewによって利用者PC上で禁止されたRemoteFX USBデバイス</li> <li>◆ USB(RemoteFX)で接続されたディスクドライブ以外(Webカメラなど)</li> <li>◆ 「仮想端末 / アプリ」からのクリップボードの共有</li> <li>◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」からのクリップボードの共有</li> <li>◆ プリンター ◆ オーディオデバイス ◆ ビデオキャプチャデバイス</li> <li>◆ スマートカードデバイス ◆ COMポート(シリアルポート)</li> <li>◆ LPTポート(パラレルポート)</li> </ul>
リモート接続設定	● 部署別設定 ● カタログ別設定 ● 利用割当ユニット別設定	
	● 設定項目(接続)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 同一ユーザーによる複数の仮想端末 / アプリへの同時リモート接続を許可する</li> <li>◆ リモート接続先にIPアドレスで接続する</li> <li>◆ アプリケーション起動時の接続中画面に、詳細の表示画面(接続先のログオン画面)を表示する</li> <li>◆ 仮想端末からの公開アプリケーション利用時に、リモート接続サーバー上で移動ユーザープロファイルが有効でもローカルプロファイルを利用する</li> </ul>
	● 設定項目(切断 / ログオフ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ マウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的に切断する</li> <li>◆ 接続してから一定時間経過すると自動的に切断する</li> <li>◆ 自動的に切断された場合、同時にログオフする</li> <li>◆ 仮想端末 / アプリを切断後、一定時間経過すると自動的にログオフする</li> <li>◆ アプリケーションを終了後、一定時間経過すると自動的にログオフする</li> </ul>

利用設定		
リモート接続設定	● 設定項目(パフォーマンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 表示可能なモニター数を制限する</li> <li>◆ 表示可能なモニターの解像度を制限する</li> <li>◆ 色の解像度(深度)を制限する</li> <li>◆ デスクトップの背景を表示しない</li> <li>◆ フォントスムージングを禁止する</li> <li>◆ デスクトップ コンポジション(Windows Aero)を許可する</li> <li>◆ 画面上の視覚効果(アニメーションなど)を減らす</li> <li>◆ ドラッグ中にウィンドウの内容を表示しない</li> </ul>
	● 設定項目(その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スタートメニューに「Windows セキュリティ」項目を表示しない</li> <li>◆ ルート証明書の自動更新によって、リモート接続の開始処理に時間がかかる問題を解消する</li> <li>◆ 仮想端末 / アプリ上でキーボードレイアウトを日本語(JIS)キーボードとして扱う</li> <li>◆ スタートメニューが表示できない問題を解消する</li> <li>◆ Internet Explorerのインターネット一時ファイルを削除する</li> <li>◆ ショートカットキーを仮想端末上で利用できるよう別のキーに割り当てる</li> <li>◆ ユーザープロファイルを保存する</li> <li>◆ リモート接続中の画面の解像度を調整して画面を拡大表示する</li> <li>◆ 公開アプリケーション(ブラウザ)で閲覧しているWebサイトのタイトルをリモート接続ウィンドウに反映する</li> <li>◆ 公開アプリケーション(ブラウザ)で複数のウィンドウを開く操作をした場合、警告メッセージを表示する</li> <li>◆ リモート接続ウィンドウを全画面表示した場合、接続バーを表示する</li> </ul>

その他		
ユーザー問い合わせ対応		
管理コンソール設定		
ツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配付用インストーラー作成</li> <li>● 通信セキュリティ設定</li> <li>● 通信設定</li> <li>● バックアップ / リストア</li> <li>● イベントログアーカイブ</li> <li>● ランチャー専用端末設定</li> <li>● Active Directoryユーザー情報出力 / ユーザー情報取り込み</li> </ul>	
ランチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SKYDIV Desktop Client ランチャー</li> <li>● SKYDIV Desktop Client Webランチャー</li> <li>● 組織外端末専用ランチャー</li> <li>● タブレット端末利用(SKYDIV Web Portal)</li> </ul>	
SKYSEA Client View 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SKYSEA Client View自動インストール</li> <li>● SKYSEA Client View部署・端末利用者情報反映</li> <li>● RemoteFX USBデバイスリダイレクト</li> </ul>	
ファイル無害化連携(オプション)	● セキュリティ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「仮想端末 / アプリ」上から「シンクライアント端末(利用者PC)」上にファイルを転送する際にファイルを無害化する</li> <li>◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」上でファイルの無害化を許可する</li> <li>◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」上から「仮想端末 / アプリ」上へ無害化したファイルの転送を許可する</li> </ul>
	● ツール	◆ ファイル無害化設定
SKYDIV Desktop Client Remote Access Services(オプション)	● 専用サイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ PC管理 ◆ ユーザー管理 ◆ 設定 ◆ 接続状況</li> <li>◆ インストーラーのダウンロード</li> </ul>

# 動作確認製品一覧

2025年3月3日現在の情報です。最新情報および製品型番などの詳しい情報については、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/operation/compatibility.html>) をご覧ください。

## さまざまなOSで仮想環境が利用可能

Windows搭載PC以外でも、MacやLinux、iPad、Chromebook、Android端末など、さまざまな環境でご利用いただけます<sup>※1</sup>。

macOS <sup>※2</sup>	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>iMac</li> <li>iMac Pro</li> <li>Mac mini</li> <li>Mac Pro</li> <li>MacBook Air</li> <li>MacBook Pro</li> </ul>

iPadOS <sup>※2</sup>	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPad mini 4</li> <li>iPad Pro(第2世代)</li> <li>iPad Pro</li> <li>iPad Air 2</li> <li>iPad(第7世代)</li> <li>iPad(第6世代)</li> <li>iPad Pro 11インチ(第4世代)</li> </ul>

iOS <sup>※2</sup>	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPad(第6世代)</li> <li>iPad Pro</li> <li>iPad Air 2</li> <li>iPad Air</li> <li>iPad mini 4</li> <li>iPad mini 3</li> <li>iPhoneXS Max</li> <li>iPhone 16</li> <li>iPhone 14 Plus</li> <li>iPhone 14</li> <li>iPhone 13 mini</li> <li>iPhone 12 mini</li> <li>iPhone 12 Pro Max</li> <li>iPhone 11 Pro</li> <li>iPhone 12</li> <li>iPhone SE</li> <li>iPhone 11</li> <li>iPhone XS</li> <li>iPhone XR</li> <li>iPhone 7</li> <li>iPhone 6</li> <li>iPhone 5S</li> </ul>

Chrome OS <sup>※2※3</sup>	
メーカー	製品名
ASUS JAPAN株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebook Flip C302C</li> <li>Chromebook Flip C213NA</li> </ul>
デル・テクノロジーズ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dell Chromebook 11</li> </ul>
日本エイスー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebook 11</li> <li>Chromebook Spin 11</li> </ul>
レノボ・ジャパン合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lenovo 300e Chromebook 2nd Gen</li> </ul>

Android <sup>※2</sup>	
メーカー	製品名
ASUS JAPAN株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZenPad 10</li> </ul>
京セラ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Qua tab QZ8 / QZ10</li> </ul>
グーグル合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Pixel 7</li> <li>Google Pixel 6a</li> <li>Google Pixel 6</li> <li>Google Pixel 5</li> <li>Google Pixel 4a</li> <li>Google Pixel 4 XL</li> </ul>
サムスン電子ジャパン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Galaxy S22</li> </ul>
シャープ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>AQUOS zero2</li> </ul>
ソニー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Xperia 1 VI</li> <li>Xperia 1</li> <li>Xperia XZ Premium</li> </ul>
日本電気株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAVIE Tab E</li> </ul>

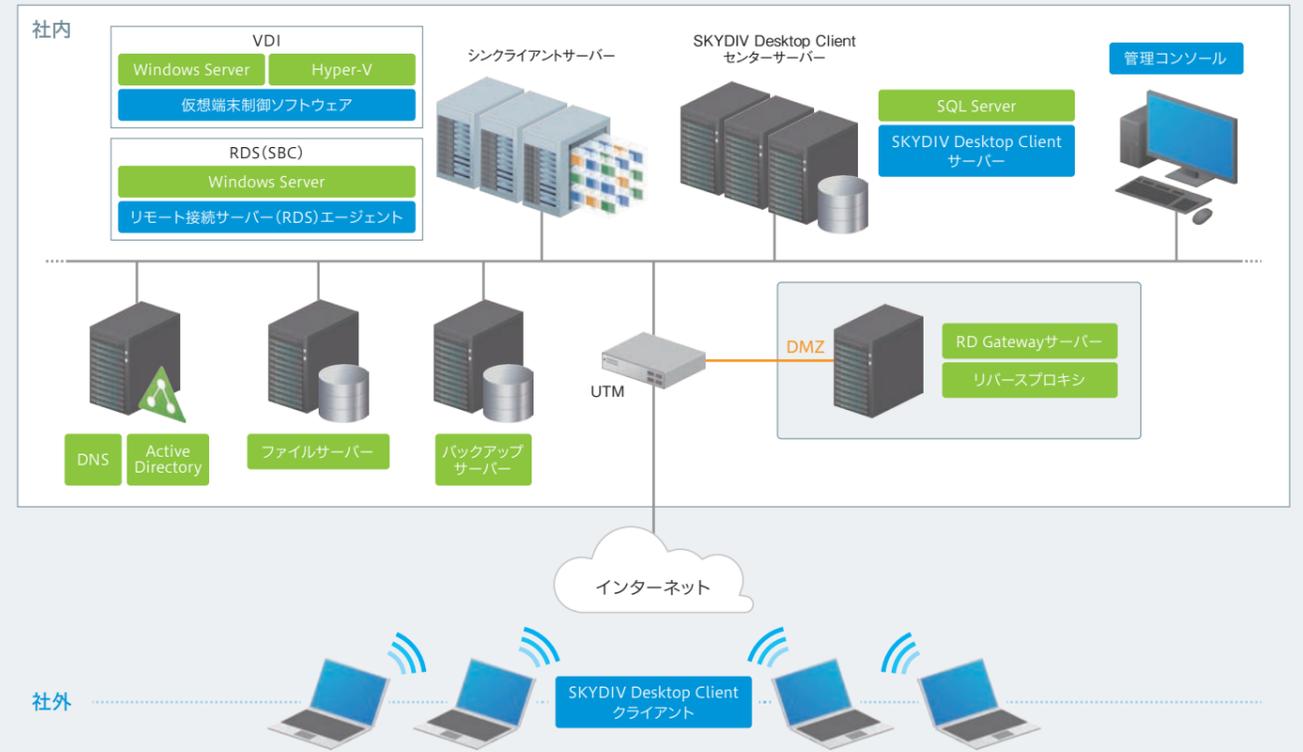
Windows 10 IoT Enterprise搭載端末 <sup>※4</sup>	
メーカー	製品名
セイコーエプソン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Endeavor JM5000</li> <li>Endeavor JA997</li> <li>Endeavor JA994</li> <li>Endeavor JN4100</li> </ul>
日本電気株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>US320f</li> <li>VersaPro</li> </ul>
富士通株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>FUTRO S740</li> </ul>

Linuxシンクライアント端末	
メーカー	製品名
デル・テクノロジーズ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wyse 5070 Hybrid Client</li> <li>Wyse 3040 Thin Client</li> </ul>
株式会社 日本HP	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP t430 Thin Client</li> </ul>

※1 各OSの対応バージョンについては、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/operation/compatibility.html>) をご覧ください。※2 Microsoft Remote Desktopアプリのインストールが必要です。※3 Google Play非対応版の端末は、サポート対象外です。※4 「ランチャー専用端末設定ツール」を使用することで、デスクトップやWindowsの機能を表示せずにSKYDIV Desktop Clientだけが使える専用の端末に設定できます。

## システム構成例

■ マイクロソフト社の機能 ■ SKYDIV Desktop Client の機能



## 必要なライセンスについて

2024年6月17日現在の情報です。最新情報はWebサイト (<https://www.skydiv.jp/system/>) をご覧ください。

SKYDIV Desktop Clientをご利用いただくには、次のライセンスを必要な台数・ユーザー数分ご準備ください。

分類	ライセンス種別	ライセンス	補足
サーバー	Windows Server 2022	コア数ライセンス	物理サーバー台数分が必要です。
	Windows Server CAL	ユーザーCAL	
		デバイスCAL	在宅・リモートのときは、デバイス数が不明のためユーザーCALをご利用ください。
	SQL Server	コア数ライセンス	システム規模によっては、SQL Server Express Editionの利用も可能です。
VDI方式	ライセンス購入	Microsoft VDA	ユーザーライセンス
		デバイスライセンス	
	それ以外の方法	SA特典を利用	クライアントOSライセンスのボリュームライセンスにある「ソフトウェアアシュアランス(SA)」を結び方法。MicrosoftクライアントOSのSAの特典として、Windows VDAの権利が与えられます。Windows VDAの権利によってSAを取得したデバイスまたはユーザーは、リモートまたはローカルで実行する仮想WindowsデスクトップOSにアクセスできます。
	Microsoft 365を購入	Microsoft 365 E3/E5を利用している場合は、プラン内にWindows VDAの利用権が含まれます。	
SBC方式	RDS CAL <sup>※5</sup> Windows Server Remote Desktop Services CAL	ユーザーライセンス	
		デバイスライセンス	
Microsoft Office <sup>※5</sup>	オンプレミス版 Office		シンクライアント利用時に有効なライセンスを割り当てるようにしてください。FAT端末にライセンスが割り当てられている場合、利用者であるユーザーにライセンスを割り当てられている場合など、ライセンス種別や環境により必要なライセンスは異なります。詳細は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
	Microsoft 365 (旧Office 365)		Microsoft 365では1ユーザーあたり最大5デバイスまで利用できるため、シンクライアント環境でも利用できます。 ※Microsoft 365にはデスクトップアプリの提供がないプランや利用できるデバイス数が少ないプランもありますのでご注意ください。

※5 同時接続ライセンスの提供はありません。

SKYDIV Desktop Clientの設計・構築にあたっては、Windows Server Hybrid Administrator Associateをお持ちか、同等の資格をお持ちの方が作業を行われることを推奨しております。

- 動作環境および制限事項については、Webサイトをご確認ください。
- 動作環境 ([https://www.skydiv.jp/operation/v7\\_0.html](https://www.skydiv.jp/operation/v7_0.html))
- 制限事項 ([https://www.skydiv.jp/limit/v7\\_0.html](https://www.skydiv.jp/limit/v7_0.html))

# サポートサービス

安全な環境で、常に安心して  
お使いいただくために最新版をご提供

## メジャーバージョンアップもご提供

常に高いセキュリティレベルを維持していただくために、機能改善を主としたマイナーバージョンアップだけではなく、新機能を搭載するメジャーバージョンアップもご提供しています。アップデートモジュールは「保守契約ユーザー用Webサイト」より、ダウンロードいただけます。また、バージョンアップによる機能強化ポイントや、アップデート手順書をご紹介しています。

最新情報と共に、  
運用を支えるさまざまなツールを公開

## 保守契約ユーザー用 Webサイト

SKYDIV Desktop Clientの最新版アップデーターのほか、運用にお役立ていただける情報や各種ツールをご提供しています。



## 技術資料 / マニュアルを 日本語でご提供

サポートサービスはすべて日本国内で提供しており、お客様の使いやすさを考慮して、技術資料やマニュアルも日本語で作成しています。



専門のスタッフが、お客様の日々の運用をサポート

## ヘルプデスクサービス

お困りのときは電話・メール・FAXなどお気軽にお問い合わせいただければ、専門スキルを持ったサポートスタッフがトラブルの内容、お客様の環境などを確認し、全力で対応いたします。



## 5つのお約束

- 1 お問い合わせには翌営業日までに回答いたします。
- 2 いつでも品質の高いサポートを提供いたします。
- 3 どこまでもサポート品質の向上を追求いたします。
- 4 サービスの改善もリスク管理を行った上で実施いたします。
- 5 問題点は徹底して再発防止に取り組みます。

全国に拠点を配置。  
専門のスタッフが全力で対応いたします。



ご利用環境に即した内容で研修会を実施

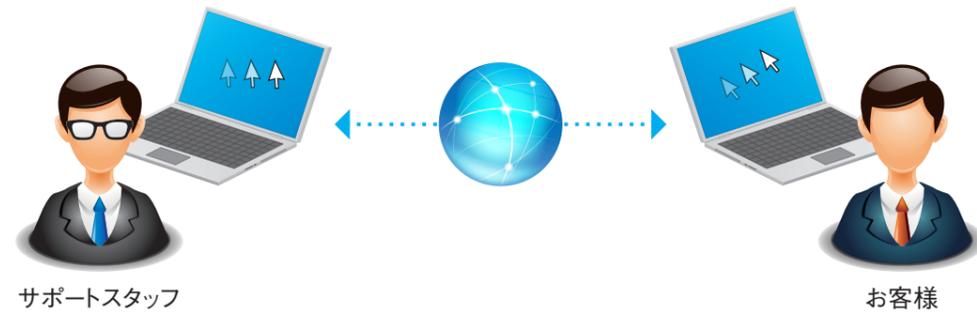
## 研修会の実施

専門のスタッフがお客様先へ伺い、各機能の操作説明などを実施します。お客様のご要望や所要時間に合わせて内容を検討いたします(研修会は有償となります)。

## リモート操作で、より早く的確にトラブルを解決

### リモートサポートサービス

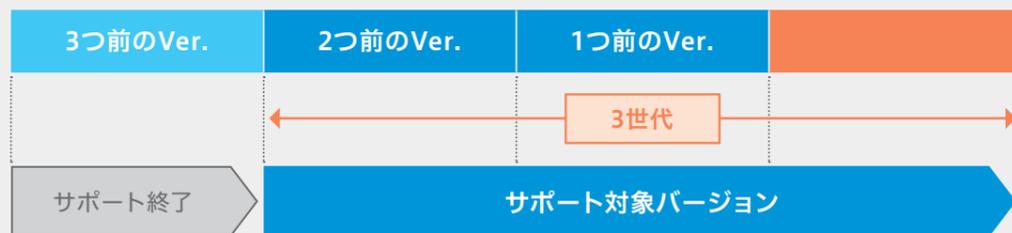
お問い合わせ内容やトラブルの状況に合わせて、弊社スタッフが、インターネットを通じてお客様のPCをリモートコントロール。操作のご案内やトラブル解決に対応いたします。簡単な操作で安全に接続できるので、電話だけのサポートに比べてお客様のご負担を減らすことができ、早期のトラブル解決にお役立ていただけます。



## ライフサイクルポリシーについて

### サポートの対象は最新のバージョンを含め、3世代までです

サポートの対象となるSKYDIV Desktop Clientのバージョンは、最新のメジャーバージョンを含め、3世代までです。メジャーバージョンアップが行われた時点で、3世代より前となるバージョンはサポート終了となります。



### サポートが終了したバージョンのお問い合わせについて

サポートが終了したバージョンの基本的な操作方法についてはサポートいたしますが、不具合・トラブルなどで調査が必要な場合には、まずご利用のSKYDIV Desktop Clientをサポート対象のバージョンにバージョンアップいただきますようお願いいたします。バージョンアップ後に、調査等を継続いたします。

## 品質向上への取り組み

### 専用テストングルームを設置

社内に専用のテストングルームを設置し、あらゆる環境を想定した評価 / 検証を行っています。継続的な運用のなかで浮き彫りになる、細かな課題も見逃さずに商品開発にフィードバックを行っており、お客様と同じ「利用者の視点」でソフトウェアの機能向上に取り組んでいます。



### 情報セキュリティマネジメント国際規格『ISO/IEC 27001』

Sk y株式会社(以下、弊社)は、情報セキュリティ対策の管理の仕組みについて規定した国際規格である「ISO/IEC 27001」を取得しています。



### 個人情報保護規格『プライバシーマーク』

弊社は、保有する個人情報の取り扱いおよび管理体制について、第三者機関に認証を受け「プライバシーマーク」を取得。お客様の情報はもちろん、あらゆる個人情報を適切に管理・保護しております。高い情報セキュリティレベルを実現するために、商品の品質管理を徹底しています。



クライアント運用管理ソフトウェア

# SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

ITリスク対策が、企業を進化させる。

クライアント運用管理ソフトウェア  
「SKYSEA Client View」のご紹介

## ネットワーク分離環境における 情報漏洩対策をさらに強化

ネットワーク分離環境下での情報漏洩対策をさらに強化いただくために、クライアント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」をご活用いただけます。ログによるセキュリティリスクの把握や、USBメモリの適切な管理、マルウェアの検知などを支援します。



「使いやすさ」にこだわった  
ユーザーインターフェース

毎年のバージョンアップで  
最新のIT環境にいち早く対応

他社製品との  
連携ソリューションで  
対策をさらに強化

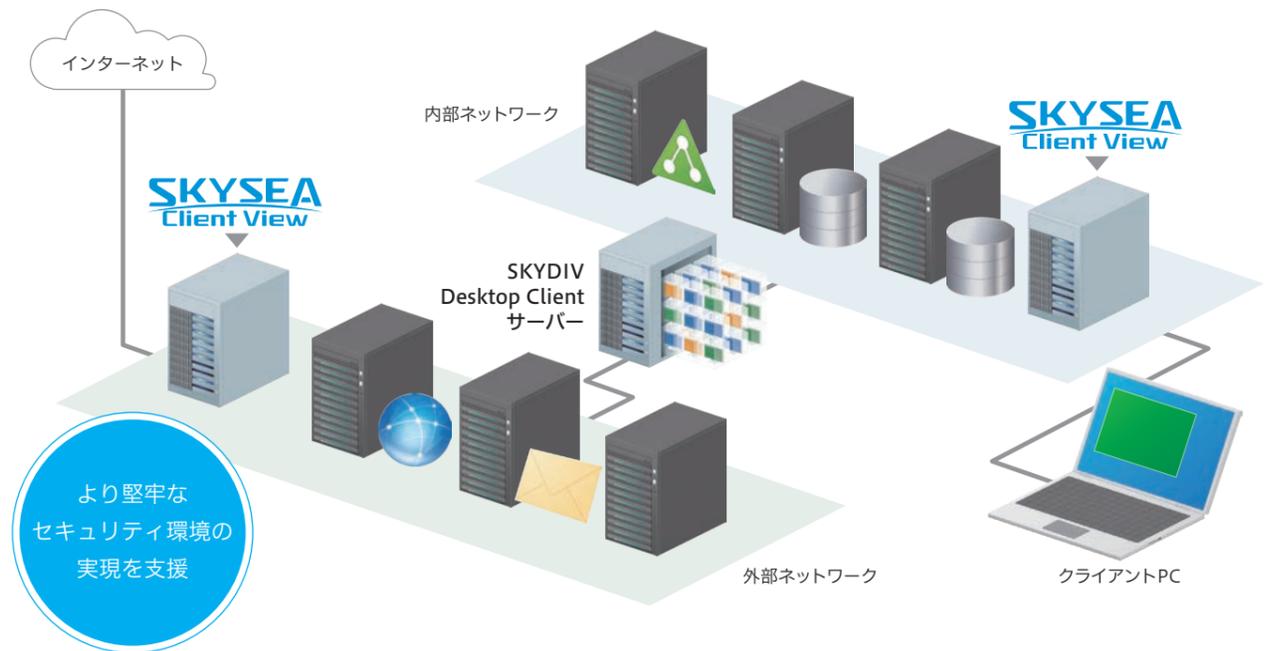
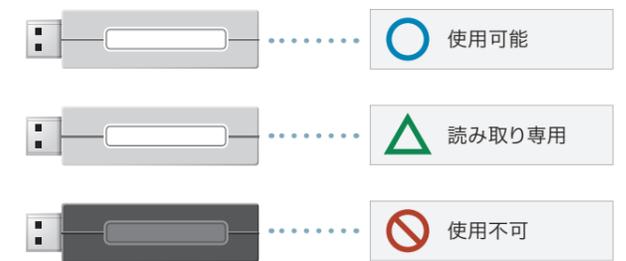
### 仮想端末のログも取得し、 情報漏洩などの監査に活用

組織内の重要なデータが万が一にも持ち出されないように、仮想端末上で行われた操作もログとして記録し、内部不正の防止を支援します。



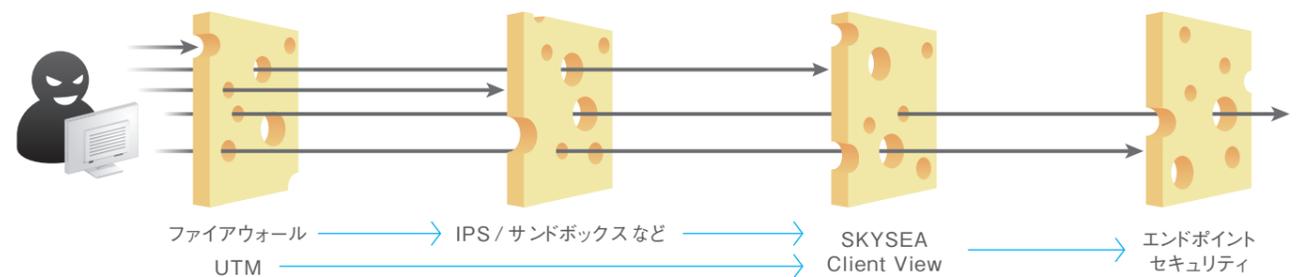
### USBメモリの使用制御で データ持ち出しを制限

USBメモリや外付けハードディスクなどの外部記憶媒体について、組織で支給したデバイス以外の使用を禁止したり、部署やPCごとに詳しい制限設定が行えます。



### 連携製品との組み合わせで「多層防御」を支援

UTMやウイルス対策ソフトウェアなどの他社メーカー様の製品と連携することで、多層防御による情報漏洩対策の強化を支援。マルウェアなどの異常を検知すると、管理者に通知し、端末をネットワークから遮断します。



SKYDIV Desktop Client は“**企業・団体・教育機関・医療機関**”のお客様向け商品です

商品に関するお問い合わせや最新情報は

Webサイト

SKYDIV

検索

<https://www.skydiv.jp/>

商品に関するお問い合わせは、Webサイトよりお受けしております。



インフォメーションダイヤル

- 法人名、企業名、学校名、病院名、代表電話番号などをお答えいただけない場合、ご利用できません。
- 法人、教育機関、自治体、医療機関以外の方からの問い合わせには対応いたしかねます。
- サービス・品質の向上とお問い合わせ内容などの確認のために、通話を録音させていただいております。

**03-5860-2622 (東京) 06-4807-6382 (大阪)**

受付時間 9:30~17:30 (土・日・祝、ならびに弊社の定める休業日を除く平日)

Sky株式会社の取り組みや、商品・イベントなどの情報を発信しています。

企業アカウント

sky\_it\_corporate



Instagram



企業アカウント

@Sky\_corporate



X (旧Twitter)



公式YouTube™チャンネル

@Sky\_Inc.

YouTube™



弊社は、Microsoft社の製品やテクノロジーをベースとしたサービスの開発や販売を行うIT関連企業に対するパートナープログラム制度において、「マイクロソフト ソリューションパートナー」の認定を受けています。



**Sky株式会社** — <https://www.skygroup.jp/> —

- 東京本社 〒108-0075  
東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル9F  
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977
- 大阪本社 〒532-0003  
大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F  
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376
- 札幌支社 仙台支社 大宮支社 横浜支社 静岡支社 三島支社  
名古屋支社 神戸支社 広島支社 松山支社 福岡支社 沖縄支社

●SKYDIV、SKYDIV Desktop Client、スカイディ部長、SKYSEA および SKYSEA Client View は、Sky株式会社の登録商標です。●Microsoft、Windows Server、Hyper-V、SQL Server および Microsoft 365 は、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。●Linux® は、Linus Torvaldsの登録商標または商標です。●Mac は、Apple Inc.の登録商標または商標です。●Instagram は、Meta Platforms, Inc.の登録商標または商標です。●YouTube™ は、Google LLCの登録商標または商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複製、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

※本カタログに掲載している画面はすべて開発中のものです。※各機能のご紹介は、Windows端末の管理を基本として掲載しております。